

# 愛知県震度観測・調査報告書

— 第 4 5 報 —

2025年1月～12月

愛知県防災会議地震部会



# 目 次

## I トピックス

- 1 2025年カムチャツカ半島付近の地震の特徴とその防災上の意味..... 1
- 2 2025年青森県東方沖地震で初めて発表された「北海道・三陸沖後発地震注意情報」 ..... 12

## II 震度観測資料

- 1 はじめに ..... 21
- 2 愛知県における地震 ..... 22
  - (1) 愛知県とその周辺の地震の震央分布 ..... 22
  - (2) 愛知県内で震度1以上を観測した地震の概況 ..... 24
  - (3) 愛知県の各地で観測した有感地震の推移 ..... 34
- 3 国内の主要な地震 ..... 50
- 4 世界の主な地震 ..... 55



はじめに

2025 年には国内で最大震度 5 強以上を記録した地震が 6 回発生しました。そのうち 4 回はトカラ列島近海で発生した地震で、いずれも鹿児島県十島村悪石島で震度 5 強が 3 回、6 弱が 1 回観測されています。これらの地震が発生した 7 月の一ヶ月間だけで悪石島での有感地震の回数は 1,487 回に達しています。

海外では 7 月 30 日にカムチャツカ半島周辺で M8.8 の大きな地震が発生しました。この地震により津波が発生し、気象庁は日本の太平洋沿岸の広い範囲に対して津波警報と津波注意報を発表しました。岩手県久慈市では 1.4 m の津波が観測されています。カムチャツカ半島から北海道にかけての千島海溝周辺ではこれまでに何度も大地震が発生しています。これらの地震に関して報告書のトピックスに取り上げました。

12 月 8 日には青森県東方沖で M7.5 の地震が発生し、八戸市で最大震度 6 強を記録したほか、北海道から岩手県にかけて震度 5 強以上の揺れを観測しました。この地震を受けて、大規模地震が発生する可能性が平常時に比べて相対的に高まっているとして、2022 年 12 月に後発地震注意情報の運用が開始されて初めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されました。これについてもトピックスに取り上げました。

この報告書では 2025 年に愛知県で観測された地震についてまとめています。2025 年は愛知県内や周辺地域では目立った地震の発生はありませんでした。県内で震度 1 以上を観測した地震は 27 回で、最大震度は 3 でした。愛知県の有感地震の観測数は年平均で 30 回くらいであり、発生した地震の震度からも、例年同様に地震の揺れを意識することはほとんどなかったと言えるでしょう。日本全体では震度 4 以上の地震数は能登半島地震が発生した 2024 年と同程度で例年よりやや多かったこと、津波警報や後発地震注意情報が発表されたことなどから、地震やそれによる被害についての報道に接する機会は比較的多かったと思われます。

愛知県においては、南海トラフ地震の発生が懸念されており、また、活断層による地震はいつどこで発生してもおかしくありません。最近の地震活動の状況に関わらず、近い将来に、この地域で地震が発生することを想定した日頃からの地震への備えが必要です。

本報告書で分析された地震のデータが、地震防災対策の基礎資料として活用され、また、県民の皆様の地震に対する理解を深めていただくための資料となれば幸いです。

最後に本報告書の作成にあたり、原稿及び資料をお寄せいただきました名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター、気象庁名古屋地方気象台をはじめ、ご協力いただいた方々に厚く謝意を表します。

愛知県防災会議地震部会

# I トピックス

## 1 2025年カムチャツカ半島付近の地震の特徴とその防災上の意味

### 1. 2025年カムチャツカ半島付近の地震の特徴と観測事実

2025年7月30日8時25分頃に、ロシア極東のカムチャツカ半島沖で、モーメントマグニチュード(Mw)8.8の巨大地震が発生しました(図1)。この地震の震源は太平洋プレートが沈み込む海溝付近に位置しており、沈み込み帯に特有の圧縮型破壊による低角逆断層型の巨大地震でした。日本国内で観測された最大震度は北海道釧路市などで記録された震度2で、北海道から九州地方にかけて広い範囲で震度1が観測されました<sup>[1]</sup>が、東海地方や愛知県を含む多くの地域では体感するほどの揺れは限定的でした(図2)。

この地震に伴って津波が発生し、日本では北海道から和歌山県にかけての太平洋沿岸に津波警報が発表されました。観測された津波の最大波高は、岩手県久慈港で1.3m(後に1.4mに修正)、宮城県仙台港で0.9m、北海道根室市花咲で0.8mなどでした(図3)。日本沿岸への津波の到達は、地震発生から約2時間後の10時30分頃に北海道根室市花咲で始まり、その後各地に順次到達しました<sup>[1]</sup>。津波の到達までに時間がありましたが、津波の規模が直ちに確定したわけではありません。地震発生直後、気象庁(JMA)は地震の規模を当初Mw8.0と発表しましたが、その後Mw8.7、最終的にMw8.8へと段階的に修正しました。大規模地震においては、発生直後に把握できる情報が震源位置やマグニチュードなどに限られるため、初期の段階で地震規模が過小評価されることは珍しくありません。津波の規模を左右する断層のすべり方、特に海溝付近の浅部でどの程度のすべりが生じたかについては、詳細な解析結果を待つ必要があります<sup>[2]</sup>。

この地震の防災上重要な特徴は、日本国内では強い揺れがほとんど観測されなかったにもかかわらず、津波が広い範囲に到達した点にあります。一般に、日本近海で地震が発生すると、強い揺れが先に観測され、その後に津波が到達します。しかし、この地震では日本列島には強震動がほとんど伝わらず、津波のみが時間をおいて到達しました。そのため、多くの地域で、地震の発生は揺れによってではなく、テレビやスマートフォンを通じて発表された津波警報や津波注意報によって認識されました。

津波は一度到達して終わる現象ではありませんでした。日本沿岸で最大の津波が観測された時刻は、岩手県久慈港では地震発生から約5時間半後、宮城県仙台

港では約 15 時間後であり、津波が長時間にわたって複数回到達したことがわかります。

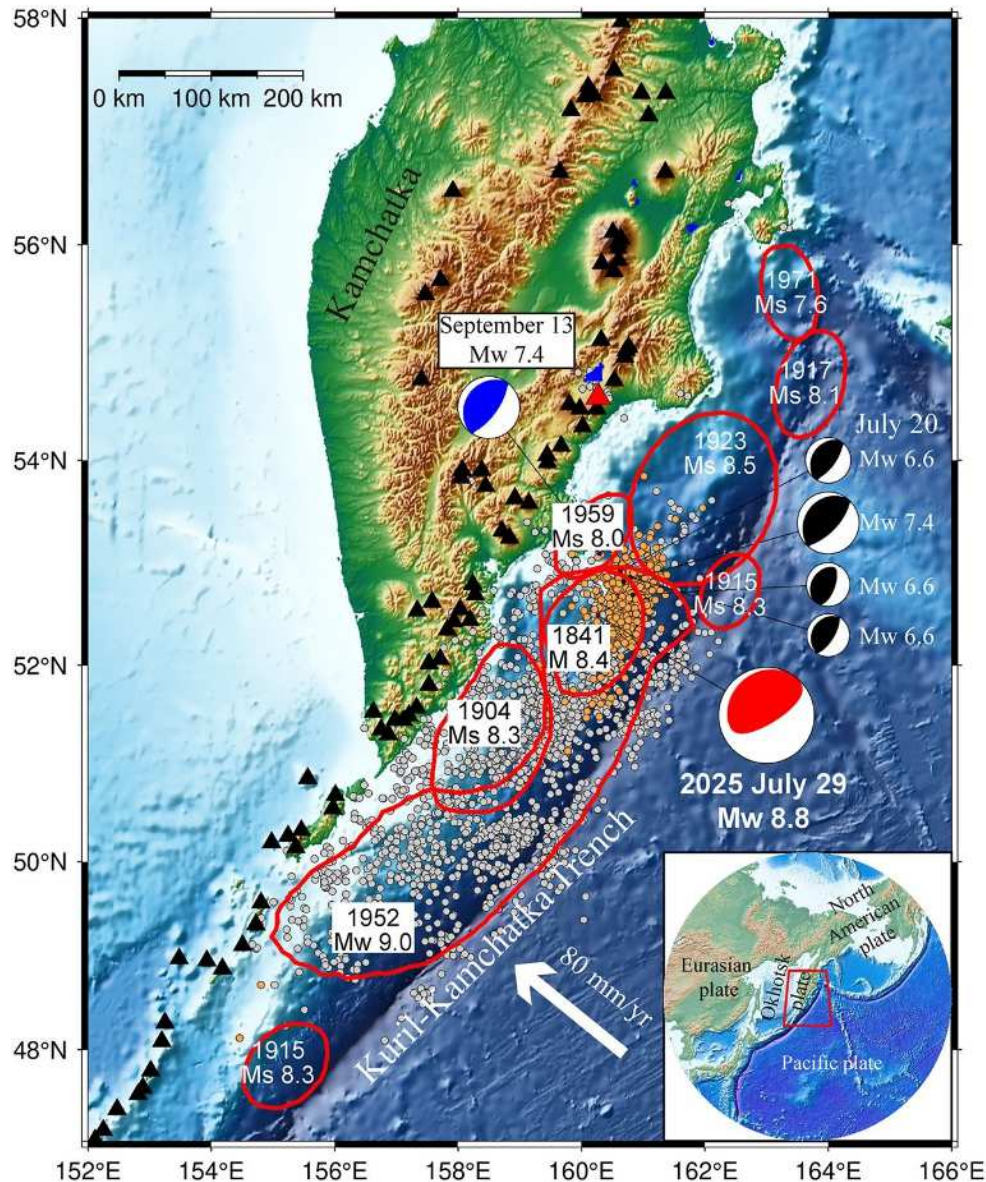


図 1 : 2025 年カムチャツカ半島付近の地震のテクトニクス (文献[3]の Fig. 1)

赤色、黒色、青色の震源メカニズムは、それぞれ 2025 年 Mw 8.8 の本震、2025 年 7 月 20 日以降に発生した強い前震、最大余震を示す。オレンジ色および灰色の点は、それぞれ本震前に発生した前震 (2025 年 7 月 9 日~2025 年 7 月 29 日) および本震後に発生した余震 (2025 年 7 月 30 日~2025 年 9 月 15 日) を表す。震源メカニズムおよび小地震のデータは米国地質調査所 (USGS) による。白色の矢印は太平洋プレートの相対的な運動方向を示す。赤色の輪郭線は余震分布に基づいて推定された歴史的巨大地震の震源域を示す<sup>[4]</sup>。黒色の三角形は火山 (赤色は本震後の 8 月 2 日に噴火を開始したクラシェニンニコフ火山) を示す。



7月30日09時42分発表

図 2 : 2025 年カムチャツカ半島付近の地震における日本全国の震度分布

気象庁による震度観測結果に基づき、色および数値は各地点で観測された最大震度を表す。震度 1 以上が観測された地点は、日本列島の広範囲に分布している（気象庁，発表時刻：2025 年 7 月 30 日 09 時 42 分）。

太平洋のような広大な海域は、津波が伝播する際に、海底地形や島弧による反射・屈折の影響を受けます。今回の事例では「天皇海山列」で反射した津波が地震発生から約 5 時間半後に三陸沖へ到達したことが示されています。さらに、千島列島やアリューシャン列島で反射した津波も日本沿岸に到達する津波に複雑な影響を与えました。ロシアのベスニク湾近くの狭く険しい谷では局所的に 33.1 m という非常に高い津波の遡上が記録されました<sup>[5]</sup>。日本沿岸では、津波警報が解除された後も、南米大陸で反射した波が到達したため、気象庁は「若干の海面変動」が続くとして注意を呼びかけました。最終的に日本周辺では約 3 日間にわたって海面変動が観測されました。

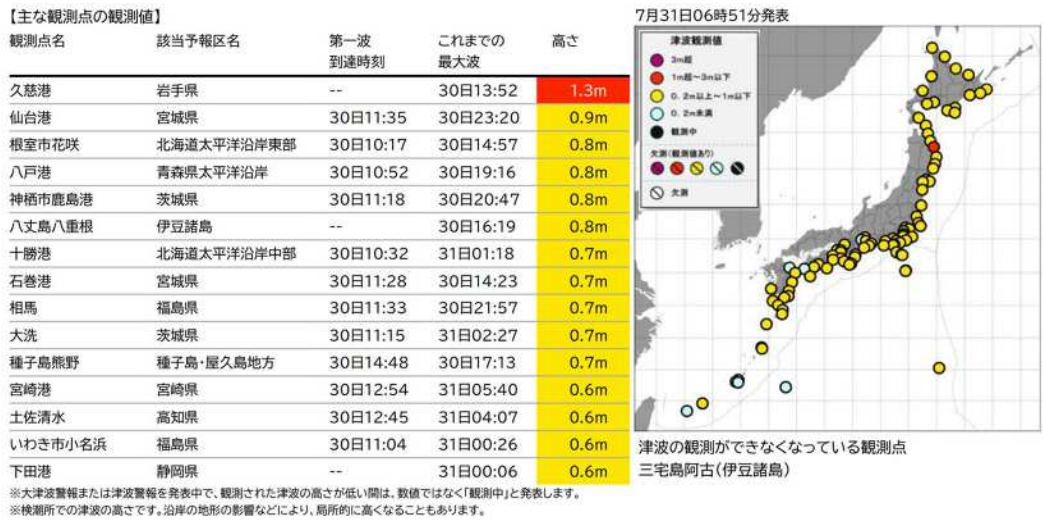


図3：2025年カムチャツカ半島付近の地震に伴って観測された津波の観測値および沿岸分布

主要な潮位観測点における第一波の到達時刻、最大波の到達時刻、および観測された最大津波高を示す。右図は、日本全国の津波観測点における最大津波高の空間分布を示し、色分けは観測された津波高の階級を表す。観測不能となった地点も併せて示す（気象庁，発表時刻：2025年7月31日06時51分）。

以上の観測結果を総合すると、2025年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波は、地震規模（Mw8.8）や警報発表時に想定された最大クラスの津波シナリオと比較すると、結果として日本沿岸では大規模な被害には至りませんでした。発生初期の段階ではその規模を確定的に評価することはできませんでした。

2. 千島・カムチャツカ沈み込み帯について

千島・カムチャツカ沈み込み帯は、北はベーリング海から南は北海道付近に至る全長約2,000kmにわたって連続する大規模なプレート境界です。この領域では、太平洋プレートがオホーツクプレート（北アメリカプレートの一部とみなされることもある）の下に沈み込んでおり、世界でも特に地震活動が活発な地域の一つです。

この沈み込み帯の大きな特徴の一つは、太平洋プレートの沈み込み速度が非常に速いことです。測地学的観測に基づくプレート運動モデルによれば、太平洋プレートはオホーツクプレートの下に、北緯55度付近では年間約7.7cm、北緯47度付近では年間約8.3cmの速度で沈み込んでおり、世界の沈み込み帯の中でも最も速い部類に入ります<sup>[6]</sup>。沈み込み速度が速いということは、プレート境界に

歪みが蓄積される速度も大きいことを意味します。このような条件のもとで、千島・カムチャツカ沈み込み帯では、当時の観測条件によりマグニチュード尺度は異なりますが、1737年 (Mw9.3 推定)、1841年 (M8.4)、1923年 (Ms (表面波マグニチュード) 8.5)、1952年 (Mw8.8-9.0) といったマグニチュード9クラスの巨大地震が、歴史的に繰り返し発生してきました<sup>[3]</sup> (図1)。

沈み込み帯では、プレート境界が常に滑らかに動いているわけではなく、一部が強く固着して動かない領域が存在します。沈み込み速度が速い場合、このような固着域には歪みが急速に蓄積されます。千島・カムチャツカ沈み込み帯においても、地殻変動観測や地震活動の解析から、プレート境界に広い範囲で固着域が存在することが示されています<sup>[4]</sup>。これらの固着域では、長期間にわたってすべりが抑えられ、その結果として歪みが蓄積され、最終的に巨大地震として解放されます。1952年に発生した巨大地震では、こうした固着域に対応する領域で大規模なすべりが生じたと考えられています。

近年のGNSS観測に基づく固着分布と、1952年地震の推定破壊域を比較すると、強く固着していた領域が巨大地震の破壊域と対応していることが分かります。2025年カムチャツカ半島付近の地震についても、余震分布や初期解析の結果から、1952年地震の破壊域と大きく重なる領域が破壊されたことが示唆されています<sup>[7]</sup> (図4)。このことは、同じ固着域が長期的な歪みの蓄積と解放を繰り返し、巨大地震の発生場となっている可能性を示しています。

ただし、固着域が存在することは、常に同じ規模や同じ性質の地震が発生することを意味するわけではありません。2025年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波は、地震の規模に比べて日本沿岸では相対的に小さなものとどまりました。多くの研究では、その背景として、海溝付近の浅い部分でのすべりが比較的限定的であった可能性が指摘されています<sup>[3]</sup>。一方、2011年東北地方太平洋沖地震や1952年カムチャツカ半島付近の地震では、断層の破壊が海溝付近の浅部まで及び、大きな海底変形が生じたと考えられています<sup>[9]</sup>。このような破壊様式の違いによって、同程度の地震規模であっても、発生する津波の大きさや影響範囲は大きく異なります。つまり、巨大地震の発生と巨大津波の発生は必ずしも一対一で対応するものではなく、断層のすべり方が津波の性質を大きく左右することが分かります。

### 3. 1952年地震と2025年地震の比較

2025年カムチャツカ半島付近の地震 (Mw 8.8) は、1952年に同地域で発生した Mw8.8~9.0の巨大地震と、地震規模や震源位置において多くの共通点を持っている

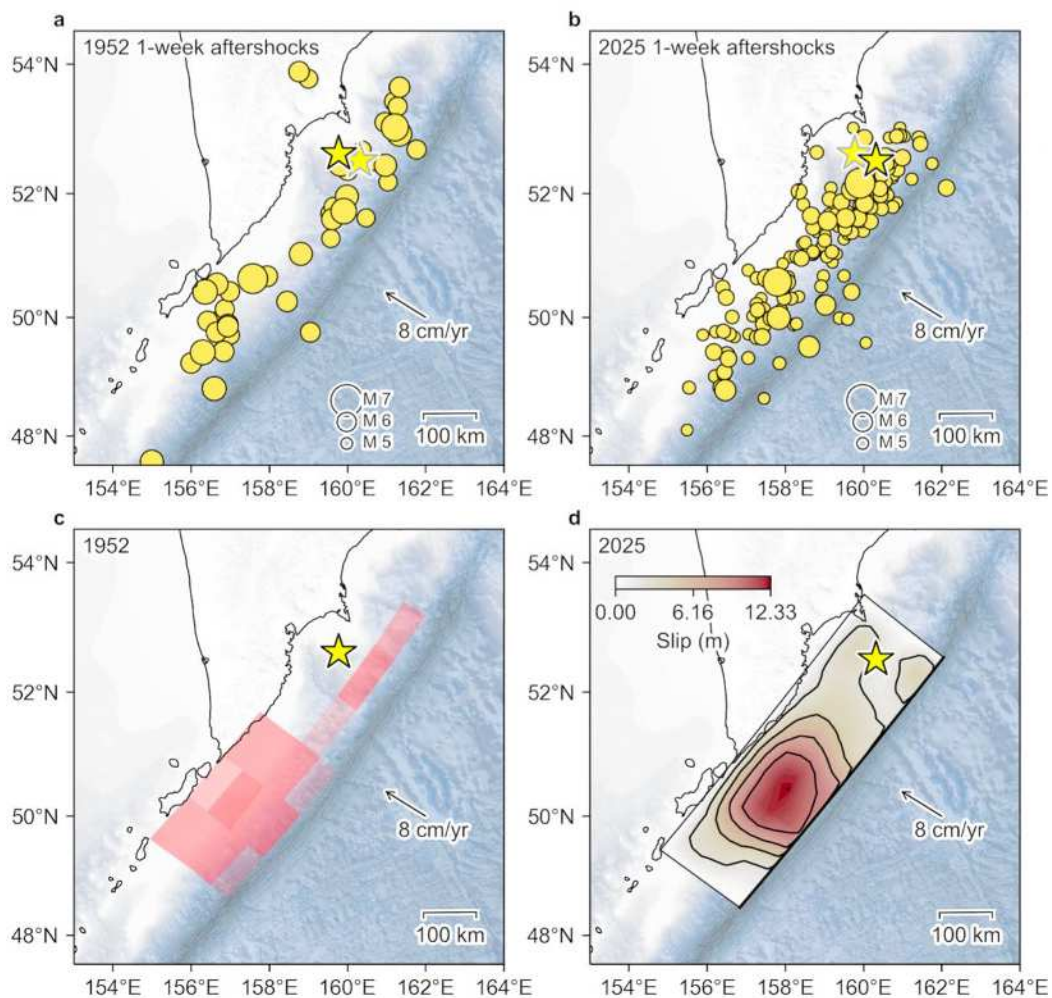


図4：1952年および2025年のカムチャツカ半島付近の地震の比較（文献[7]のFig.1の一部）

(a) 1952年地震、(b) 2025年地震の発生後1週間以内に発生した余震分布。震央位置はUSGSに基づき、1952年地震については1952年11月4日～11日、2025年地震については2025年7月30日～8月5日に発生した $M \geq 5$ の地震を示す。主震の震央を黒枠の星印、余震を黄色の円で示す。比較のため、もう一方の地震の主震震央を灰色枠の星印で併せて示す。矢印はオホーツクプレートに対する太平洋プレートの相対運動方向（約8 cm/年）を示す<sup>[6]</sup>。(c) 1952年地震および(d) 2025年地震のすべり分布モデル。1952年地震のすべり分布は、文献[8]により推定されたモデルに基づき、すべり量が9 mを超える領域の重なりを半透明の赤色で示し、色が濃いほど信頼性が高いことを表す。2025年地震のすべり分布は、傾斜角 $16^\circ$ およびカムチャツカ半島の修正地域構造モデルを用いて算出されている。星印は主震の震央位置を示す。

ます。2025年地震の震央は、1952年地震の震央から約45 km北西に位置しており、両者は空間的に極めて近接した場所で発生しました（図4）。また、2025年地

震の余震分布は長さ約 600 km、幅 150~200 km の範囲に広がっており、過去の研究で推定されている 1952 年地震の破壊域と大きく重なっています<sup>[3]</sup>。これらの事実は、異なる時代に発生した二つの巨大地震が、同一の断層セグメントを再び破壊した可能性を示しています。

さらに、両地震では破壊開始点がほぼ同一領域に集中していたことが指摘されています<sup>[3]</sup>。巨大地震において破壊開始点が繰り返し同じ場所付近に現れることは一般的ではありません。この領域が長期間にわたって強く固着して主要なすべりの起点となっており、地震発生を支配する重要な領域である可能性が考えられます<sup>[10]</sup>。また、1952 年地震および 2025 年地震のいずれにおいても、破壊は主として南西方向へ一方向に進行したことが示唆されており、2025 年地震では破壊が約 500 km にわたって進行し、破壊継続時間は約 180~220 秒と推定されています。

巨大地震は数百年に一度と理解されることもありますが、1952 年地震から 2025 年地震までの再来間隔は約 73 年です。千島・カムチャツカ沈み込み帯では太平洋プレートが年間約 8 cm という非常に速い速度で沈み込んでいます。プレート境界が完全に固着していると仮定すれば、73 年間で約 6 m 程度の収束が蓄積されることになり、力学的には Mw 8 級後半の巨大地震が再び発生し得る条件が整います。このことは、巨大地震が必ずしも数百年規模でしか起きないとは限らず、地域条件によっては数十年規模で再発する可能性もあることを示しています。

2025 年地震のすべり量については、複数の断層モデル解析から平均すべり量が数 m 規模と推定されています。一部の初期解析では非常に大きなすべりを示す結果も報告されました。しかし、再来間隔や他の解析結果との整合性を考慮すると、その評価については慎重な検討が必要とされています。防災上重要な点は、地震発生直後の解析結果は暫定的なものであり、時間の経過とともに修正されることがあるという点です。初期段階では評価が流動的であることを前提に対応する必要があります。

地震時のすべり量が蓄積された歪み量を一時的に上回る現象としてダイナミックオーバーシュートが知られています。これは、断層破壊が動的に進行する過程で、蓄積された歪み以上にすべりが生じる可能性を示す概念です。今回の 2025 年地震で 1952 年地震の時に解消されずに残っていた応力がまとめて解放された可能性も考えられます<sup>[7]</sup>。ただし、この効果がどの程度寄与したかについては、今後の詳細な解析を待つ必要があります。現時点では、73 年という再来間隔はこの地域の高速度プレート収束を考慮すれば、力学的に必ずしも不自然ではありません。

以上の比較から、千島・カムチャツカ沈み込み帯では、同一の断層セグメントで巨大地震が比較的短い間隔で繰り返し発生し得ることが示されています。この

ことは、過去の発生間隔の長短だけで安全性を判断するのではなく、地域のプレート運動条件や固着状況を踏まえた評価が必要であることを示しています。

#### 4. 津波規模を決める要因 — すべり分布と海底変位 —

1952年および2025年に発生したカムチャツカ半島付近の地震は規模が同等であったにもかかわらず、両地震に伴って発生した津波の規模や影響範囲は大きく異なりました。この事実は、マグニチュードが同じであっても津波被害の規模が同じになるとは限らないことを示しています。

津波は地震動そのものによって発生するのではなく、地震に伴う海底の鉛直方向の変位によって海水が押し上げられることで生じます。そのため、地震の規模だけを基準に津波リスクを判断することは適切ではなく、「どこで」「どれだけ」海底が上下したかで津波規模が決まります。断層面上のすべり量が同程度であっても、すべりが生じた位置や深さによって海底変位の大きさは大きく変わります。

一般に、すべりがプレート境界の比較的深い部分で生じた場合、海底まで伝わる鉛直変位は小さくなります。一方、海溝軸付近の浅い部分で大きなすべりが生じると、効率よく海底が変位し、大規模な津波が発生しやすくなります。したがって、地震規模だけを基準に津波リスクを判断することは適切ではありません。すべり分布、とりわけ海溝近傍の浅部でのすべりの有無が、津波の大きさを大きく左右します（図5）。

1952年カムチャツカ半島付近の地震では、津波堆積物や歴史記録の分析から、海溝近傍の浅部において大きなすべりが生じた可能性が指摘されています<sup>[8]</sup>。その結果、太平洋全域に及ぶ破壊的な津波が発生しました。一方、2025年地震については、現時点の解析では、主なすべりが比較的深いプレート境界で生じた可能

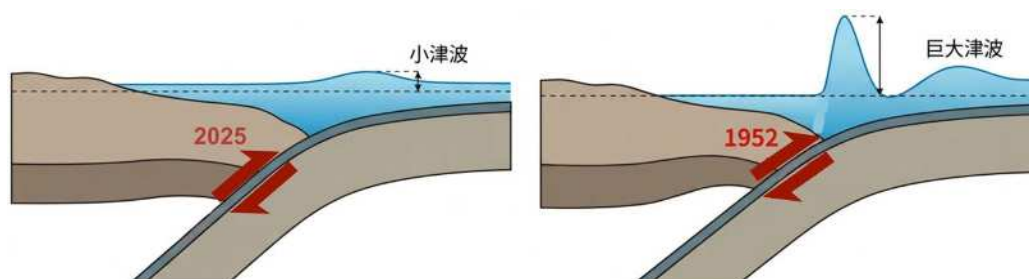


図5：1952年および2025年カムチャツカ半島付近の地震における津波規模の違いを生じさせた、すべり分布と海底変位の概念図

赤い矢印は断層すべりが生じた位置。右図は1952年地震において海溝軸付近の浅部にすべりが集中した場合、左図は2025年地震において比較的深いプレート境界で主にすべりが生じた場合を示す。

性が示されています<sup>[7]</sup>。もし海溝付近の浅部ですべりが限定的であったとすれば、地震規模が巨大であっても、津波源としての効率は相対的に低くなります。このことが、日本沿岸で観測された津波が比較的限定的であった背景の一つと考えられます。

ただし、地震発生直後の段階では、すべり分布の詳細は直ちには確定しません。津波規模の評価は、地震規模の推定と同様に、時間とともに更新されていきます。したがって、防災対応においては、地震のマグニチュードだけで津波規模を過小評価することは避ける必要があります。

以上のように、巨大地震と巨大津波は必ずしも一対一で対応するものではありません。同じ Mw 8 級後半の地震であっても、破壊様式の違いによって津波の影響は大きく変わります。このことは、過去の事例に基づく想定を固定的にとらえるのではなく、複数のシナリオを前提に備えることの重要性を示しています。

## 5. 遠地巨大地震・遠地津波が示す防災上の課題

2025年カムチャツカ半島付近の地震は、日本列島から遠く離れた場所で発生したにもかかわらず、広範囲に津波警報が発表され、日本沿岸の社会活動に大きな影響を与えました。本事例は、遠地で発生する巨大地震およびそれに伴う津波が、防災上いくつかの特有の課題を持つことを改めて示しています。

第一に、遠地津波は「一度到達して終わる現象」ではありません。2025年地震では、日本沿岸への津波の到達は地震発生から約2時間後に始まりましたが、最大波は数時間から十数時間後に観測された地点もありました。津波は太平洋という広大な海域を伝播する過程で、海底地形や島弧、海山列などによる反射や屈折を繰り返し、複数の経路を通過して沿岸に到達します。そのため、遠地津波は長時間にわたり影響を及ぼし続ける現象です。警報解除の判断や港湾施設・漁業活動の再開判断においては、この時間的な広がりを中心に考慮する必要があります。

第二に、揺れを感じない避難という課題があります。2025年地震では、日本国内で観測された揺れは震度1～2程度にとどまり、多くの地域で地震の揺れを実感することはほとんどありませんでした。それにもかかわらず、津波警報が発表され、避難行動が求められました。遠地巨大地震の場合、避難の判断基準は「揺れ」ではなく「警報」です。揺れを感じない状況下で避難を促すことは容易ではありませんが、平時からその可能性を共有しておくことが、住民の理解と迅速な行動につながります。

第三に、津波規模と沿岸被害が必ずしも一対一で対応しない点です。2025年地震に伴う津波は、日本沿岸では比較的限定的でしたが、ロシア沿岸の一部では非

常に高い遡上が記録されました。これは、津波源の規模だけでなく、湾の形状や水深分布、沿岸地形といった局所的な条件が、被害規模を大きく左右することを示しています。「外洋での津波が小さいから安全である」と単純に判断することはできません。

第四に、初期情報の不確実性があります。地震発生直後に把握できるのは震源位置やマグニチュードなど限られた情報です。津波規模を左右する断層すべりの詳細、とりわけ海溝近傍の浅部ですべりがどの程度生じたかは、直ちには確定できません。2025年地震では、結果として日本沿岸での津波は比較的限定的でしたが、発生当初の段階でそのことを確実に判断することは不可能でした。防災対応においては、過大評価の可能性よりも過小評価のリスクの方が重大であることを前提に判断する必要があります。結果が小規模であったからといって、初動対応が過剰であったとは評価できません。

第五に、警報解除後も影響が継続する可能性がある点です。遠方で反射した津波成分が後から到達する場合もあり、海面変動が数日間継続することがあります。警報が解除された後も、一定期間は慎重な対応が求められます。

以上のように、遠地巨大地震・遠地津波への対応では、①津波が長時間継続すること、②揺れを伴わない避難が求められること、③津波規模が地震規模だけでは判断できないこと、④初期情報には不確実性があること、⑤警報解除後も影響が残る可能性があること、を前提に備える必要があります。

2025年カムチャツカ半島付近の地震は、遠地巨大地震が決して「国外で起きた特異な出来事」ではなく、日本の防災対応にも直接的な影響を及ぼし得る現象であることを示しました。今後も太平洋規模で同様の地震が発生する可能性を踏まえ、遠地巨大地震に対する備えと住民への周知を継続していくことが重要です。

(名古屋大学環境学研究科附属地震火山研究センター 伊藤 武男)

- 
- [1] 気象庁 (2025). 令和7年7月30日08時25分頃のカムチャツカ半島付近の地震について. 気象庁報道発表資料.  
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2507/30a/202507301010.html>
  - [2] NOAA Center for Tsunami Research. (2025). Kamchatka Tsunami, July 29, 2025. NOAA Pacific Marine Environmental Laboratory. Retrieved from <https://nctr.pmel.noaa.gov/kamchatka20250729/>
  - [3] Xu, D., Wang, W., & Ren, Z. (2025). Preliminary slip distribution of the July 29, 2025  $M_w$  8.8 Kamchatka, Russia earthquake. *Earthquake Research Advances*, 100427.  
<https://doi.org/10.1016/j.eqrea.2025.100427>

- [4] Johnson, J. M., & Satake, K. (1999). Asperity distribution of the 1952 great Kamchatka earthquake and its relation to future earthquake potential in Kamchatka. *Pure and Applied Geophysics*, 154(3), 541- 553.
- [5] Pinegina, T. K., Ozerov, A. Y., Tsvetkov, V. A., et al. (2025). Tsunami from the Mw 8.8 Kamchatka Earthquake of 29 July 2025 on the East Coast of Kamchatka and the North Kuril Islands. *Pure and Applied Geophysics*. <https://doi.org/10.1007/s00024-025-03873-1>
- [6] DeMets, C., Gordon, R. G., & Argus, D. F. (2010). Geologically current plate motions. *Geophysical Journal International*, 181(1), 1-80. <https://doi.org/10.1111/j.1365246X.2009.04491.x>
- [7] Yagi, Y., Fukahata, Y., Okuwaki, R., Takagawa, T., & Toda, S. (2025). Breaking the Cycle: Short Recurrence and Overshoot of an M9-class Kamchatka Earthquake. *Seismica*. <https://doi.org/10.26443/seismica.v4i2.2012>
- [8] MacInnes, B. T., Weiss, R., Bourgeois, J., & Pinegina, T. K. (2010). Slip distribution of the 1952 Kamchatka great earthquake based on near-field tsunami deposits and historical records. *Bulletin of the Seismological Society of America*, 100(4), 1695-1709. <https://doi.org/10.1785/0120090376>
- [9] Fujiwara, T., Kodaira, S., No, T., Kaiho, Y., Takahashi, N., & Kaneda, Y. (2011). The 2011 Tohoku-Oki earthquake: displacement reaching the trench axis. *Science*, 334(6060), 1240. <https://doi.org/10.1126/science.1211554>
- [10] Bürgmann, R., Kogan, M. G., Steblov, G. M., Hilley, G., Levin, V. E., & Apel, E. (2005). Interseismic coupling and asperity distribution along the Kamchatka subduction zone. *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 110(B7). <https://doi.org/10.1029/2005JB003648>

## 2 2025 年青森県東方沖地震で初めて発表された「北海道・三陸沖後発地震注意情報」

### 1 2025 年青森県東方沖地震の概要

2025 年 12 月 8 日 23 時 15 分ごろ、青森県東方沖（北緯 40 度 58.0 分、東経 142 度 17.2 分）を震央とする地震が発生しました。震源の深さは約 54 km、規模は気象庁マグニチュード（Mj）7.5 と発表され、その後の解析でモーメントマグニチュード（Mw）7.7～7.9 程度と推定されています<sup>[1]</sup>。震源は八戸市の東北東約 80 km の太平洋上に位置し、1968 年十勝沖地震や 1994 年三陸はるか沖地震の震源域に隣接する海域にあたります。海溝沿いのプレート境界で発生した低角逆断層型のプレート境界地震でした<sup>[2]</sup>。

強い揺れは青森県太平洋側を中心に観測され、八戸市南郷で最大震度 6 強を記録しました。八戸市内丸、おいらせ町、階上町では震度 6 弱が観測され、震度 5 弱以上の揺れは北海道から宮城県にかけて広範囲に及び、有感域の範囲は北海道から近畿地方まで広がりました（図 6）。また、高層建築物に影響を及ぼす長周期地震動も広域で観測され、青森県三八上北地方では「立っていることが困難になる」レベルとされる長周期地震動階級 3 が記録されました。北海道や東北各県、新潟県および関東地方の一部でも階級 2 から階級 1 の長周期地震動が観測されました<sup>[3]</sup>。

地震に伴う地殻変動は、国土地理院の GNSS 観測によって青森県東部を中心に、東通村の電子基準点「東通 2」では東向き約 9 cm、沈降約 2 cm の変動が確認されました。また、北海道側でも東向きの変動が見られましたが、その大きさは数 mm～1 cm 程度でした（図 7）。人工衛星「だいち 2 号」および「だいち 4 号」による解析でも、青森県東部で最大約 9 cm の東向き変動と数 cm 規模の沈降が確認されており、GNSS の結果と整合しています。これらの観測結果に基づき、国土地理院は暫定的な断層モデルを公表し、最大すべり量約 2.4 m、地震規模 Mw7.4 と推定しています<sup>[4]</sup>。

津波については、地震発生から約 2 分後の 23 時 17 分に北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、岩手県に津波注意報が発表され、その後 23 時 23 分には一部地域で津波警報に切り替えられました。その後、北海道太平洋沿岸東部・西部、青森県日本海沿岸、宮城県、福島県にも津波注意報が発表されています。津波警報は 12 月 9 日 2 時 45 分に津波注意報へ切り替えられ、6 時 20 分にすべて解除されました。観測された最大波高は、岩手県久慈港で 0.7 m、北海道浦河で 0.5 m、青森県むつ小川原港および八戸港で 0.4 m でした。

この地震に関連して、12月9日午前2時に「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されました<sup>[6]</sup>。これは、日本海溝・千島海溝沿いを対象とする同制度が2022年（令和4年）12月16日の運用開始以来、初めて実際に発表された事例となりました。では、なぜ今回この制度が適用されたのでしょうか。その判断はどのような基準と手順に基づいて行われたのでしょうか。



図 6 : 2025 年青森県東方沖地震における震度分布

× 印は震央を示す。最大震度 6 強が青森県八戸市南郷で観測され、北海道南部から東北地方にかけて震度 5 弱以上の揺れが観測された（気象庁による）。

基準期間：2025年12月6日21:00～12月8日20:59 JST (Q5解：迅速解)  
 比較期間：2025年12月9日00:00～12月9日08:59 JST (Q5解：迅速解) 固定局：猿払 (950101)

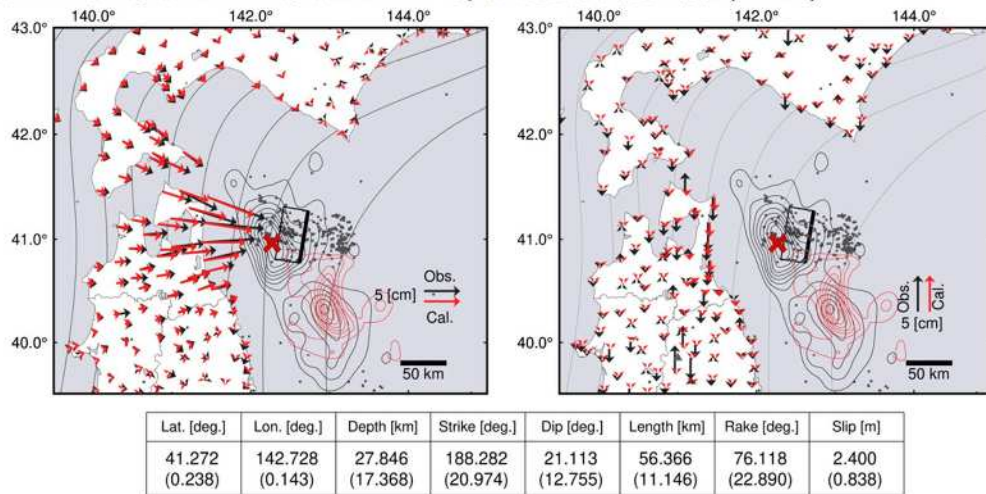


図7：GNSS観測に基づく地殻変動分布と暫定的なすべり分布モデル。

左図は水平変位ベクトル（観測値：黒，計算値：赤）、右図は鉛直変位を示す。黒枠は断層面投影位置、黒コンターは1968年十勝沖地震のアスペリティ、赤コンターは1994年三陸はるか沖地震のアスペリティ<sup>[6]</sup>を示す（国土地理院による）。

## 2. なぜ注意情報が発表されたのか

今回の発表は、制度に定められた基準と判断手順に基づいて行われました。その具体的な流れを見ていきます。青森県東方沖地震の発生後、気象庁は震源位置と規模の詳細な解析を進めました。本震の震源は日本海溝・千島海溝沿いの想定震源域に含まれる海域に位置しており、規模もMw7級後半と評価されました。制度では、対象海域でMw7.0以上の地震が発生した場合には注意情報の発表を検討することになっており、今回の地震はその条件に該当しました<sup>[7]</sup>。

地震発生直後は津波対応が最優先となりました。沿岸部には津波警報・注意報が発表され、住民避難が進められました。こうした状況下で、震源の精査と規模評価が並行して行われ、制度基準への該当性が確認されました。津波警報発表中に注意情報が同時に出されたわけではなく、初動対応を優先しつつ、解析結果が確定した段階で発表判断がなされました<sup>[8]</sup>。

その結果、地震発生から約3時間後の12月9日午前2時に、内閣府（防災担当）と気象庁は「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました。これは制度運用開始後、初めての発表でした。この発表は機械的に自動決定されるものではなく、震源位置、規模、想定震源域との関係を確認したうえで関係機関が連携して行われたものです。表1に今回の判断過程を制度上のフェーズに沿って整理

しました。さらに、表 2 に地震発生から注意情報発表、津波情報の推移までの具体的な経過を時系列で示しました。

発表後は、おおむね 1 週間を目安とする注意喚起期間に入りました。この期間中、国および自治体は、地震・津波への備えを改めて確認するよう呼びかけました。具体的には、家具固定の確認、就寝環境の安全確保、津波避難場所や避難経路の再確認、非常用持出品や備蓄の点検、情報入手手段の確認などが示されました<sup>[9]</sup>。新たな強い措置が講じられたわけではなく、短期間のリスク上昇を前提とした注意喚起が行われました。

表 1：北海道・三陸沖後発地震注意情報の運用プロセス

フェーズ	内容
発生・トリガー	<p>[地震発生]</p> <p>対象海域は、日本海溝・千島海溝沿いの想定震源域およびその周辺とされる。判定条件はモーメントマグニチュード (Mw) 7.0 以上であり、気象庁マグニチュード (Mj) ではなく Mw が基準となる。</p>
解析	<p>[気象庁による解析]</p> <p>地震発生後、気象庁により震源位置および Mw の精査が行われる。所要時間は概ね 15 分～2 時間程度とされ、算出手法により変動するものの、精度の高い Mw 決定を待つためおおそ 2 時間程度が目安とされる。</p>
情報発表	<p>[北海道・三陸沖後発地震注意情報の発表]</p> <p>内閣府（防災担当）および気象庁により、記者会見や報道発表を通じて注意情報が発表される。この情報は、「巨大地震の発生可能性が平常時より相対的に高まっている」ことを伝えるものであり、警報や避難指示ではない。</p>
呼びかけ期間	<p>[防災対応の呼びかけ]</p> <p>注意情報の発表後、地震発生から おおむね 1 週間 を目安として、地震・津波への備えの再確認が呼びかけられる。この期間においても、社会経済活動は原則として継続される。</p>
終了	<p>[呼びかけの終了]</p> <p>大規模地震が発生しなかった場合、1 週間経過時点で特別な注意喚起は終了し、以降は通常の防災意識・備えに戻る。この際、「解除」ではなく「呼びかけ終了」という表現が用いられる。</p>

表 2 : 2025 年青森県東方沖地震に伴う地震発生、津波情報の発表・解除、および北海道・三陸沖後発地震注意情報の発表に至るまでの時系列

時刻	区分	出来事・内容	ソース
12月8日 23:15	地震発生	本震発生 (Mj7.5 / Mw7.5)	気象庁
23:17	情報発表	津波注意報 発表 (北海道太平洋沿岸中部・青森県太平洋沿岸・岩手県)	気象庁
23:23	情報切替	津波注意報から津波警報へ切替 (上記3地域), 北海道太平洋沿岸東部・西部, 青森県日本海沿岸, 宮城県, 福島県に津波注意報を追加	気象庁
23:43	最大波	むつ小川原港 最大波観測 (0.4 m)	気象庁
12月9日 00:06	最大波	浦河 最大波観測 (0.5 m)	気象庁
00:53	最大波	八戸港 最大波観測 (0.4 m)	気象庁
01:09	最大波	久慈港 最大波観測 (0.7 m)	気象庁
02:00	情報発表	北海道・三陸沖後発地震注意情報 発表	内閣府 (防災担当)・気象庁
02:45	情報切替	津波警報を津波注意報へ切替	気象庁
06:20	解除	津波注意報 全解除	気象庁

注意期間中の 12 月 12 日には、本震と同じ海域でマグニチュード 6.9 の地震が発生し、津波注意報が再度発表されました<sup>[3]</sup>。その後、Mw 8 級以上の地震は発生せず、注意情報の呼びかけは 12 月 16 日午前 0 時をもって終了しました。今回の一連の経緯は、制度設計に基づく判断手順と運用プロセスが実際に機能したことを示した初の事例となりました。

### 3. 北海道・三陸沖後発地震注意情報とは何か

北海道・三陸沖後発地震注意情報は、日本海溝および千島海溝沿いで一定規模以上の地震が発生した場合に、短期間にさらに巨大地震が発生する可能性が平常時より相対的に高まった状況を社会と共有するための情報制度です。巨大地震を予知するものではなく、地震発生の確率が上昇した期間に防災意識を高めることを目的としています。住民に直ちに避難を求めるものではなく、既存の備えを再確認することを促す位置づけの情報です。

発表条件は明確に定められており、日本海溝・千島海溝沿いの想定震源域またはその周辺で、Mw7.0 以上の地震が発生した場合に検討対象となります。発表後は、原則としておおむね 1 週間を目安に注意喚起が行われます。

統計的評価によれば、平常時の 1 週間あたりの巨大地震発生確率は約 0.1%とされています。これに対し、Mw 7 級以上の地震発生後、おおむね 7 日以内に Mw 8

級以上の地震が続いて発生する確率は約1%と推定されています。絶対値としては依然として低いものの、平常時と比べれば約10倍に高まることになります。この「低い、平常時よりは高い」という状況をどのように社会と共有するかが制度設計の核心にあります。

制度の背景には過去の地震事例があります。2011年の東北地方太平洋沖地震では、本震の約2日前に同じ震源域周辺でMw7.3の地震が発生していました。また、1963年の択捉島南東沖地震では、Mw7.0の地震の約18時間後にMw8.5の巨大地震が発生しています。これらは、大きな地震の後にさらに巨大地震が続く可能性があることを示した事例です。

この制度は「注意」の一段階のみで構成されており、事前避難や行動制限を求める段階は設けられていません。不確実性を前提とした情報共有型の仕組みであり、防災関係者にとっては、リスク上昇時にどのように住民へ伝達し、備えの再確認につなげるかが重要な課題となります。今回の発表は、確率情報を社会と共有するという新しい防災の枠組みが初めて実際に運用された事例となりました。

#### 4. 南海トラフ地震臨時情報との比較

北海道・三陸沖後発地震注意情報と南海トラフ地震臨時情報は、いずれも巨大地震の発生可能性が平常時より相対的に高まった状況を社会と共有する制度です。しかし、制度設計には明確な違いがあります。両制度の主な相違点を表3に整理しました。北海道・三陸沖後発地震注意情報は「注意」の一段階のみで構成されており、住民に事前避難を求める段階は設けられていません。一方、南海トラフ地震臨時情報は「調査中」「巨大地震注意」「巨大地震警戒」といった複数段階で構成され、状況に応じて事前避難を含む行動変化が求められる場合があります。

こうした違いは、想定される地震規模や影響範囲の広さ、社会経済活動への影響度の違いを反映しています。南海トラフ巨大地震は広域かつ甚大な被害が想定されており、連動破壊の可能性も考慮されています。そのため、より強い行動変容を促す段階が制度に組み込まれています。これに対し、北海道・三陸沖の制度は、比較的限定された確率上昇を社会に共有する「注意喚起型」の設計となっています。

今回の青森県東方沖地震では、津波警報対応と並行して注意情報が発表されました。この点は、防災現場において複数の情報が同時に発信される状況を想定しておく必要性を示しています。住民や自治体にとっては、津波警報（差し迫った危険への即時対応）と注意情報（確率上昇の共有）という性格の違いを明確に理解し、情報の性格に応じた対応を取ることが重要となります。

表 3：後発地震注意情報と南海トラフ地震臨時情報の制度上の主な相違点

比較項目	北海道・三陸沖後発地震注意情報	南海トラフ地震臨時情報
対象海域	日本海溝・千島海溝沿い (北海道～岩手県沖)	南海トラフ沿い (東海～九州沖)
発表トリガー	想定震源域等で Mw7.0 以上の地震が発生	想定震源域等で M6.8 以上の地震が発生 ※評価検討会を経て種別判定
情報の段階	1 段階 (注意情報のみ)	3 段階 ・調査中 ・巨大地震注意 ・巨大地震警戒 (いわゆる半割れ)
住民への行動要請	事前避難は求めない 日頃の備えの再確認、すぐに逃げられる態勢の維持	状況により事前避難を求める 「警戒」時は津波避難困難地域等で1週間の事前避難を実施
社会活動	原則として継続	「警戒」時は一部制限 (休校、イベント自粛等) が生じる可能性あり
呼びかけ期間	地震発生からおおむね1週間	おおむね1週間 (警戒措置) ～2週間程度
共通のメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震予知 (いつ・どこで・どの規模で) ではない</li> <li>・「必ず発生する」わけではないが、平常時より発生確率が相対的に高まっている</li> <li>・科学的不確実性を前提とした「空振り (素振り)」を許容する制度設計</li> </ul>	

また、注意期間中に追加の地震が発生したことは、リスク上昇期間に実際の地震活動が続く可能性を示しました。一方で、結果として巨大地震は発生しませんでした。このような場合に制度が「空振り」と受け止められないためには、発表の目的と確率の意味を日頃から丁寧に共有しておくことが不可欠です。情報の信頼性は、結果の当否だけでなく、運用の透明性と継続的な理解促進に依存します。

今回の初運用は、日本海溝・千島海溝沿いにおける「確率上昇時の情報共有」という新しい防災の段階が具体的に実装されたことを示す事例となりました。防災関係者にとっては、この制度の趣旨と限界を正確に理解し、住民への伝達方法や平時からの周知の在り方を再確認する契機となります。今後も制度運用の検証を重ねながら、不確実性を前提とした防災対応を社会に定着させていくことが求められます。

#### 【追記】2026年4月20日三陸沖地震と再び発表された「注意情報」

本稿の脱稿後、2026年4月20日16時52分、三陸沖(宮古の東約100km付近)を震源とするマグニチュード(Mj)7.7の地震が発生しました<sup>[10]</sup>。震源の深さは約19km、太平洋プレートと陸側プレートの境界で発生した逆断層型の地震と推定

されています。この地震により、青森県階上町で最大震度 5 強を観測したほか、岩手県久慈港で 0.8m の津波、電子基準点「S 普代」で東向きに約 8cm の地殻変動が検出されるなど、岩手県を中心に東北地方の広い範囲で顕著な影響が確認されました<sup>[11]</sup>。

地震学的には、この震源域が 2025 年 12 月 8 日の地震活動域の南側に隣接し、さらに 1968 年十勝沖地震(Mj 7.9)の震源域南端付近に位置している点が重要です。地震調査委員会は、今回の地震を想定されていた領域で発生した「ひとまわり小さいプレート間地震 (M7.0~7.5 程度)」と評価しています<sup>[12]</sup>。

この地震の発生に伴い、気象庁は発生から約 2 時間半後の 19 時 30 分に「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を再び発表しました<sup>[10]</sup>。2025 年 12 月の初運用からわずか 4 ヶ月という短期間での再発表は、この海域の活動の活発さを象徴しています。しかし、同時に社会的な課題も浮き彫りとなりました。

本制度は、巨大地震の発生確率が平常時より相対的に高まっていることを知らせるものですが、実際に後発地震が発生する確率は「100 回に 1 回程度」です。短期間に情報発表が繰り返されることで、住民の間で情報の重要性が軽視される「情報の慣れ」が生じるリスクが懸念されます。一方、今回の地震の周辺では 2025 年 11 月以降、微動活動の継続や非地震性すべりの加速が観測されており、これら一連の活動が巨大地震の準備過程を示唆する可能性もあると考えられます<sup>[12]</sup>。

確率上昇という不確実性の高い情報を、いかに社会の「日常的な備え」へと結びつけるか。2025 年から 2026 年にかけて相次いだ注意情報の発表は、北海道・三陸沖後発地震注意情報が単発の制度ではなく、継続的に運用される中で社会的受容が問われていくことを示しています。同時にそれは、科学的知見の限界と防災情報の社会的受容性という、現代の地震学が向き合うべき問題を提起しているように感じられます。

伊藤 武男 (名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター)

- 
- [1] 気象庁地震火山部：令和 7 年 12 月 8 日 23 時 15 分頃の青森県東方沖の地震について (第 2 報) , 報道発表資料, 2025 年 12 月 9 日.
  - [2] 地震調査委員会：2025 年 12 月 8 日 青森県東方沖の地震の評価 (2025 年 12 月 9 日公表) , 地震調査研究推進本部,  
[https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2025/20251208\\_off\\_aomori\\_1.pdf](https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2025/20251208_off_aomori_1.pdf), 2025 年 12 月 9 日.
  - [3] 地震調査委員会：2025 年 12 月 8 日 青森県東方沖の地震の評価 (2025 年 12 月 25 日公表) , 地震調査研究推進本部,  
[https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2025/20251208\\_off\\_aomori\\_2.pdf](https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2025/20251208_off_aomori_2.pdf), 2025 年 12 月 25 日.

- [4] 国土地理院：青森県東方沖の地震（12月8日 M7.5）の断層モデル（暫定），2025年12月9日。
- [5] 内閣府（防災担当）・気象庁：北海道・三陸沖後発地震注意情報について，報道発表資料，2025年12月9日。
- [6] Nagai, R., Kikuchi, M., & Yamanaka, Y. (2001). Comparative study on the source processes of recurrent large earthquakes in Sanriku-oki region: the 1968 Tokachi-oki earthquake and the 1994 Sanriku-haruka-oki earthquake. *Zisin (Journal of the Seismological Society of Japan, Second Series)*, 54(2), 267-280.
- [7] 内閣府（防災担当）：北海道・三陸沖後発地震注意情報の解説ページ，[https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko\\_chishima/hokkaido/index.html](https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/index.html)，2025年12月10日。
- [8] 内閣府・気象庁：北海道・三陸沖後発地震注意情報リーフレット，[https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko\\_chishima/hokkaido/pdf/chishima\\_leaflets.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/pdf/chishima_leaflets.pdf)。
- [9] 内閣府・消防庁：マンガで解説！日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震，[https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko\\_chishima/hokkaido/pdf/chishima\\_manga.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/pdf/chishima_manga.pdf)。
- [10] 気象庁地震火山部：令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について（第4報），報道発表資料，2026年4月23日。
- [11] 国土地理院：三陸沖の地震（4月20日 M7.7）後の観測データ（暫定），2026年4月21日。
- [12] 地震調査委員会：2026年4月20日 三陸沖の地震の評価（2026年4月21日公表），地震調査研究推進本部，[https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2026/20260420\\_off\\_sanriku\\_1.pdf](https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2026/20260420_off_sanriku_1.pdf)，2026年4月21日。

## Ⅱ 震度観測資料

### 1 はじめに

ここでは、気象庁の地震・火山月報（防災編）より日本、世界、そして愛知県とその周辺で令和7年（2025年）に発生した地震の概要、観測した震度、被害状況について示します。

まず、愛知県で観測された過去の有感地震の数を調べてみましょう。愛知県のなかで、長期間にわたって震度観測がなされているのは、名古屋地方気象台のある名古屋市千種区です。図1のグラフは気象庁の資料による1973年から2025年までの過去約50年間に名古屋地方気象台で観測された有感地震数のグラフです。有感地震数は年によりばらつきますが、平均すると年間8.1回の有感地震が観測されています。有感地震数が飛び抜けて多かった2011年は東北地方太平洋沖地震が起きた年で、その余震や誘発地震が多く観測されました。2024年には、1月1日の令和6年能登半島地震で13年ぶりに震度4を観測し、年平均よりやや多い11回の有感地震を記録しました。2025年は8回と平均的で、震度1が7回、震度2が1回でした。愛知県全体では1973年以降、震度4を越える揺れを観測した地震はわずかに2回（震度5強と5弱、いずれも1観測点のみ）です。愛知県は過去50年以上地震の強い揺れをほとんど経験していないと言えるでしょう。

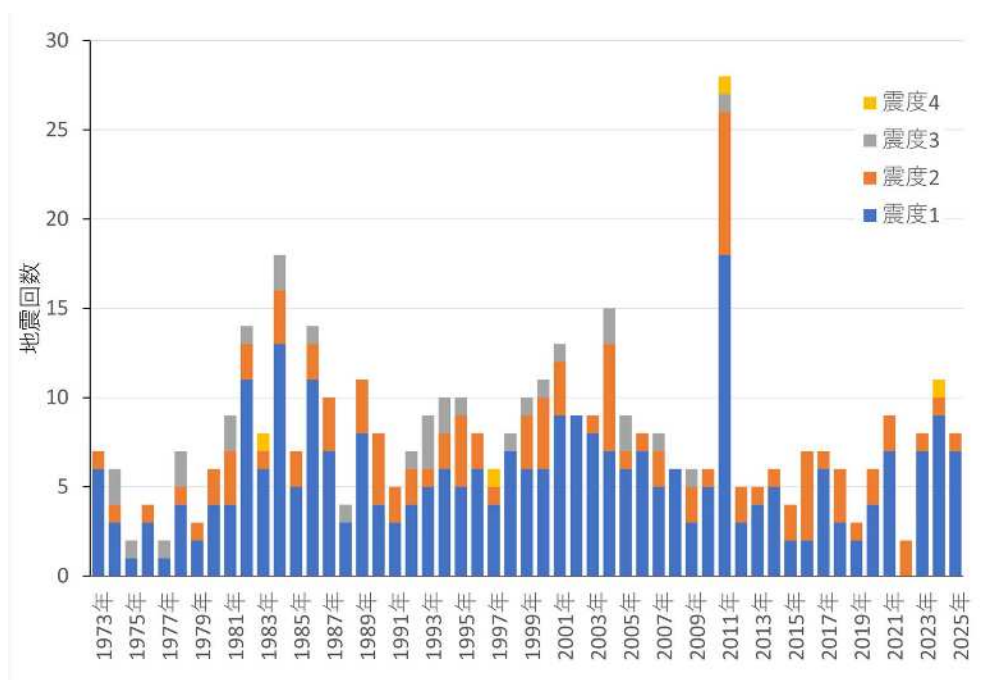


図1：名古屋地方気象台（名古屋市千種区日和町）で観測された有感地震数の変遷（気象庁震度データベースより）

## 2 愛知県における地震

### (1) 愛知県とその周辺の地震の震央分布

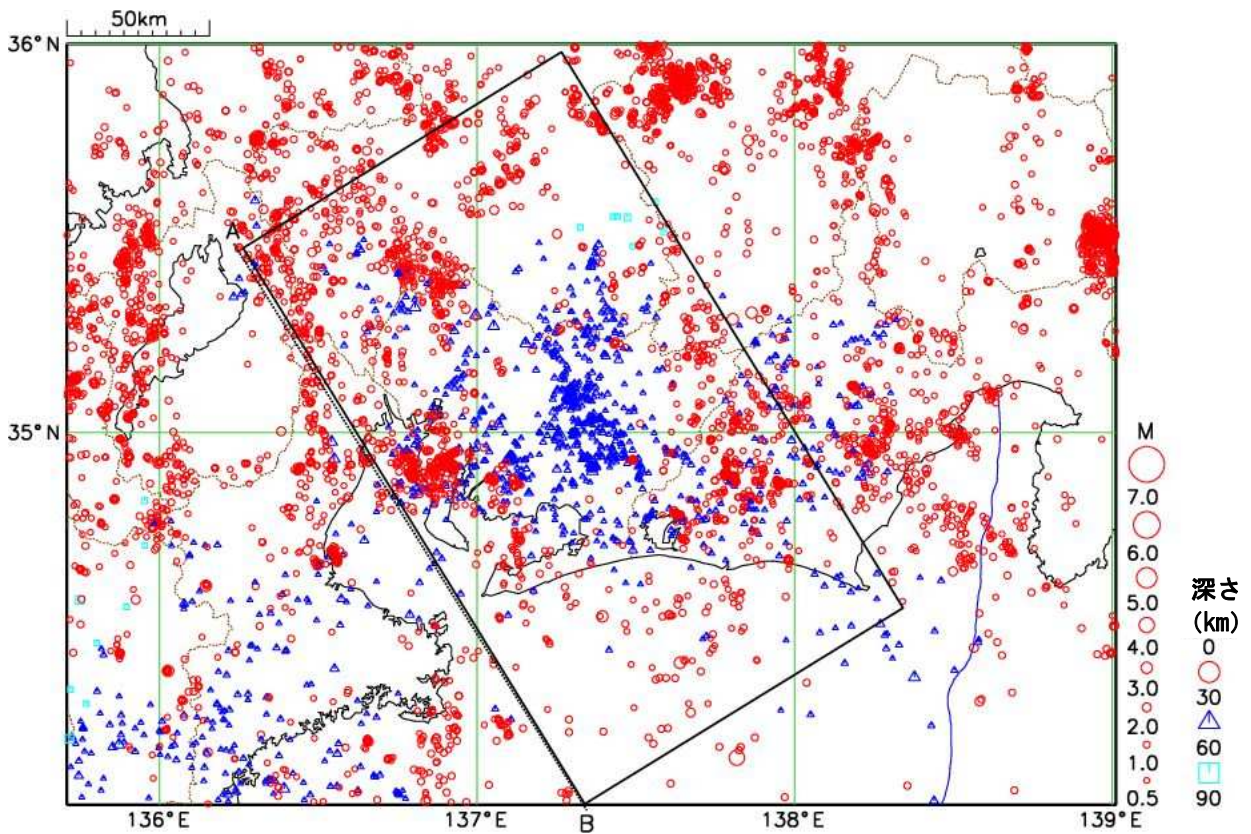
図2は、愛知県とその周辺で2025年に発生した地震の震央分布図(上)と断面図(下)です。震央分布図に赤い○マークで示したのが30 kmより浅い場所で発生した地震、青い色の△マークで示したのが30 kmから60 kmまでの深さで発生した地震、水色の□マークで示したものが60 kmよりも深い場所で発生した地震です。断面図は、震央分布図の四角い枠の中の震源を、AからBまでの線を通る垂直断面に投影したものを示しています。

愛知県では、地殻内の浅い場所および地殻の下に沈み込む(もぐり込む)フィリピン海プレート内部で地震が発生しています。震央分布図で赤いマークで示された震源は主に地殻内の地震です。地殻内の地震は比較的震源が浅く、深さ5~15 km程度です。また、青や水色のマークで示された震源は、主に沈み込むプレート内部で発生した地震です。沈み込むプレート内の地震は比較的深い場所で発生し、愛知県の地下では深さ30~50 km程度になります。断面図で右(南東)から左(北西)に向けて震源の位置が徐々に深くなっている震源分布がフィリピン海プレート内部で発生する地震です。

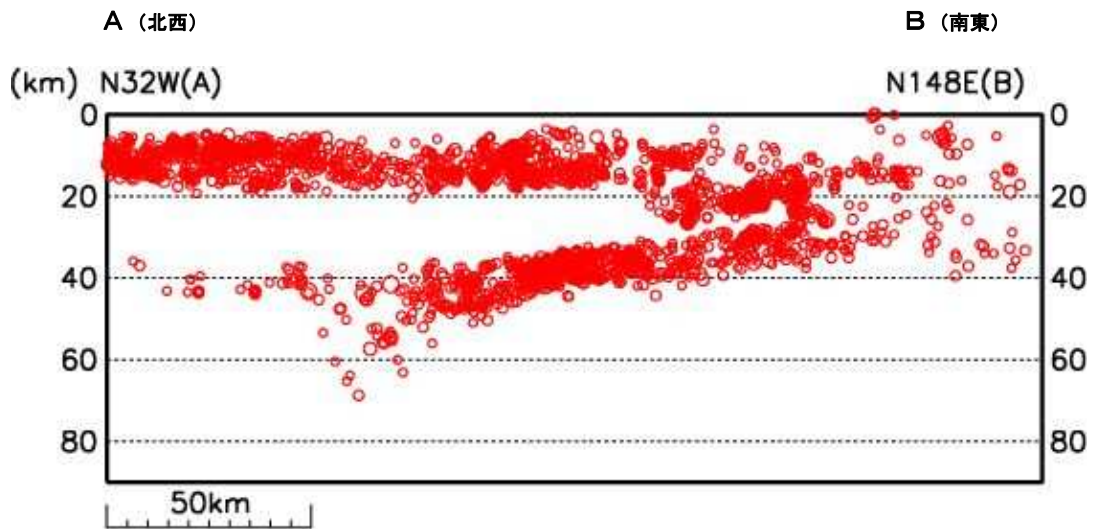
地殻内の活断層で発生するタイプの地震は、震源が浅いために大きな被害をもたらすことがあります。1891年の濃尾地震や1945年の三河地震は愛知県に大きな被害をもたらした活断層型の地震です。この地域では沈み込むプレート内部で発生する地震による大きな被害は知られていません。

近い将来発生が懸念されている南海トラフの巨大地震は、沈み込むプレートと日本列島の地殻との境界面で発生するタイプの地震で、一旦発生すると大きな被害をもたらします。南海トラフでは、普段はプレート境界面の地震がほとんど発生しませんが、プレート境界面で発生する比較的規模の大きな地震はさらなる巨大地震発生の引き金となることもあるため、注意が必要です。南海トラフの想定震源域又はその周辺でM6.8以上の地震などが発生した場合には、気象庁は「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」を発表して南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を招集して検討し、巨大地震が発生する可能性が普段より高まった状態となっているかどうかの情報を発表することになっています。

令和7年（2025年）愛知県とその周辺の震央分布図と断面図



震央分布図



断面図

図2：愛知県周辺で2025年に発生した地震の震源分布

上段：震央分布図 (2025年1月1日～12月31日 深さ0～90km M $\geq$ 0.5)

下段：震央分布図の断面図 (断面図は震央分布図の四角形を直行方向から見たもの)

(2) 令和7年(2025年)愛知県内で震度1以上を観測した地震の概況

【年間の概況】

2025年に愛知県内で震度1以上の揺れを観測した地震は27回発生しました。また、愛知県内で震度3以上を観測した地震は以下のとおりです。

- ・4月8日19時26分愛知県西部で発生したM4.6の地震(深さ36km)により、豊田市、東海市、大府市、知多市、東郷町、阿久比町、愛西市、みよし市で震度3を観測しました。

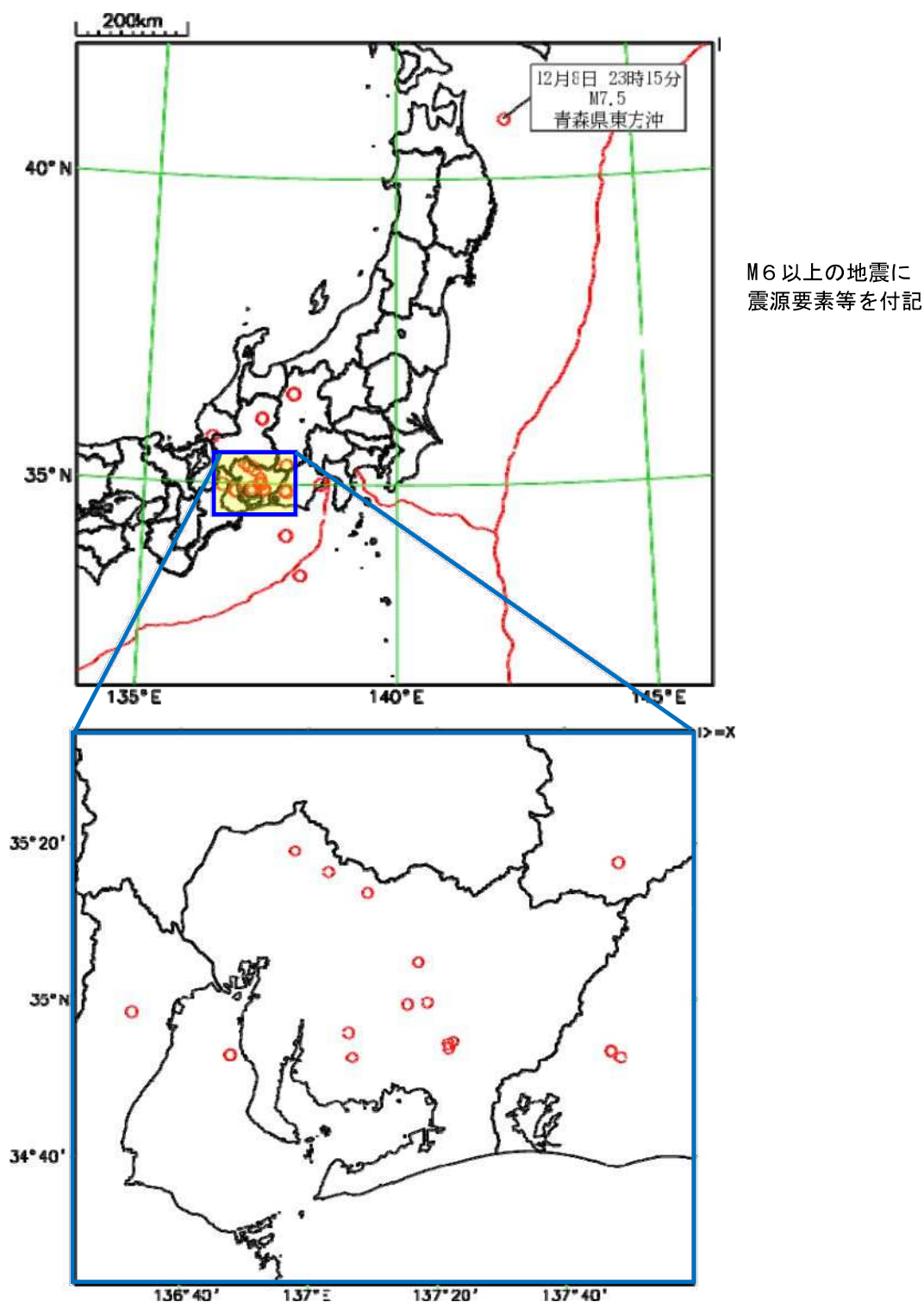


図3 2025年に愛知県内で震度1以上を観測した地震の震央分布図  
(上段: 広域図、下段: 愛知県及びその周辺)

## 【月ごとの概況】

図3地図中の番号は各月の概況文中の『図中』の番号に対応しています。

### ○1月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は1回発生しました。

- (1) 26日09時16分に三重県北部で発生したM3.2の地震(深さ40km 図中1)により、愛知県一宮市・知多市、滋賀県で震度1を観測しました。

### ○2月に愛知県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした。

### ○3月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は2回発生しました。

- (1) 9日14時02分に愛知県西部で発生したM2.6の地震(深さ8km 図中2)により、愛知県一宮市で震度1を観測しました。
- (2) 26日12時29分に愛知県西部で発生したM2.8の地震(深さ39km 図中3)により、愛知県豊田市で震度1を観測しました。

### ○4月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は3回発生しました。

- (1) 8日19時26分に愛知県西部で発生したM4.6の地震(深さ36km 図中4)により、愛知県豊田市ほかで震度3を観測したほか、甲信、東海、北陸、近畿地方で震度2~1を観測しました。
- (2) 18日20時19分に長野県北部で発生したM5.1の地震(深さ13km 図中5)により、長野県で震度5弱を観測したほか、関東甲信越、北陸、東海地方で震度4~1を観測しました。愛知県では、新城市、豊根村、豊田市で震度2を、その他の地域で震度1を観測しました。
- (3) 18日23時39分に長野県北部で発生したM4.5の地震(深さ13km 図中6)により、長野県で震度4を観測したほか、長野県、新潟県、栃木県、岐阜県、静岡県、愛知県で震度3~1を観測しました。愛知県では、新城市で震度1を観測しました。

### ○5月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は2回発生しました。

- (1) 29日15時28分に岐阜県飛騨地方で発生したM4.5の地震(深さ12km 図中7)により、岐阜県高山市で震度4を、甲信地方、東海地方、北陸地方、近畿地方で震度3~1を観測しました。愛知県では、新城市、豊田市で震度2を、県内広い範囲で震度1を観測しました。
- (2) 29日16時21分の岐阜県飛騨地方で発生したM3.7の地震(深さ12km 図中8)で、岐阜県で震度2を観測したほか、長野県、愛知県、福井県でそれぞれ震度1を観測しました。愛知県内では、豊田市で震度を観測しました。

### ○6月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は1回発生しました。

- (1) 12日12時49分に三重県南東沖で発生したM4.8の地震(深さ47km 図中9)により、東京都(伊豆諸島)、東海地方、近畿地方で震度1を観測しました。愛知県では、蒲郡市、一宮市、瀬戸市、豊田市で震度1を観測しました。この地震は、沈み込むフィリピン海プレート内で発生しました。

### ○7月に愛知県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした。

### ○8月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は6回発生しました。

- (1) 14日23時17分静岡県中部で発生したM3.9の地震(深さ23km 図中10)により、静岡県で震度3を観測したほか、山梨県で震度2、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県新城市、豊根村で震度1を観測しました。
- (2) 18日08時33分遠州灘で発生したM4.6の地震(深さ13km 図中11)により、静岡県、愛知県田原市で震度2を観測したほか、東京都(伊豆諸島)、長野県、静岡県、愛知県で震度1を観測しました。
- (3) 18日21時57分愛知県西部で発生したM3.7の地震(深さ38km 図中12)により、長野県、岐阜県、愛知県豊川市、田原市、みよし市で震度2を観測したほか、長野県、静岡県、愛知県、三重県で震度1を観測しました。
- (4) 18日23時12分愛知県東部で発生したM3.8の地震(深さ38km 図中13)により、長野

県、岐阜県、静岡県、愛知県豊田市で震度2を観測したほか、長野県、静岡県、愛知県、三重県で震度1を観測しました。

- (5) 25日01時44分福井県嶺北で発生したM4.4の地震(深さ10km 図中14)により、福井県、岐阜県で震度3を観測したほか、石川県で震度2、富山県、長野県、愛知県、近畿地方で震度1を観測しました。
- (6) 31日03時49分長野県南部で発生したM3.4の地震(深さ17km 図中15)により、長野県で震度2を観測したほか、岐阜県、愛知県新城市、豊根村で震度1を観測しました。

#### ○9月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は1回発生しました。

- (1) 7日10時50分愛知県西部で発生したM4.1の地震(深さ39km 図中16)により、東海地方及び長野県、滋賀県で震度2～1を観測しました。

#### ○10月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は5回発生しました。

- (1) 5日19時58分伊勢湾で発生したM3.3の地震(深さ8km 図中17)により、愛知県常滑市で震度2を観測したほか、愛知県、三重県で震度1を観測しました。
- (2) 9日06時51分伊勢湾で発生したM3.4の地震(深さ8km 図中18)により、愛知県知多市、三重県で震度2を観測したほか、愛知県、三重県、滋賀県で震度1を観測しました。
- (3) 11日10時14分愛知県西部で発生したM2.8の地震(深さ37km 図中19)により、愛知県新城市で震度1を観測しました。
- (4) 23日21時32分静岡県西部で発生したM3.3の地震(深さ21km 図中20)により、愛知県新城市、長野県、静岡県で震度1を観測しました。
- (5) 28日17時11分静岡県西部で発生したM2.8の地震(深さ20km 図中21)により、愛知県新城市で震度1を観測しました。

#### ○11月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は5回発生しました。

- (1) 6日23時05分静岡県西部で発生したM3.2の地震(深さ22km 図中22)により、長野県、静岡県、愛知県新城市で震度1を観測しました。
- (2) 7日12時07分愛知県西部で発生したM2.9の地震(深さ11km 図中23)により、愛知県岡崎市、豊田市、安城市、西尾市、高浜市、幸田町、みよし市で震度1を観測しました。
- (3) 7日21時41分愛知県西部で発生したM3.1の地震(深さ42km 図中24)により、岐阜県、愛知県一宮市で震度1を観測しました。
- (4) 12日15時50分愛知県西部で発生したM3.4の地震(深さ45km 図中25)により、岐阜県、三重県で震度2から1、愛知県名古屋市ほかで震度1を観測しました。
- (5) 30日23時55分愛知県西部で発生したM3.8の地震(深さ39km 図中26)により、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県新城市、名古屋市で震度2を観測したほか、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県で震度1を観測しました。

#### ○12月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は1回発生しました。

- (1) 8日23時15分青森県東方沖で発生したM7.5の地震(深さ54km 図中27)により、青森県で震度6強を観測したほか、北海道から兵庫県にかけて、震度6弱～震度1を観測しました。愛知県では名古屋市ほか震度1を観測しました。

令和7年(2025年)に愛知県内で震度1以上を観測した地震の表

番号	震源時(年月日時分) 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
1	2025年01月26日09時16分 愛知県 震度 1 : 一宮市千秋, 知多市緑町*	三重県北部	34° 58.5' N	136° 32.5' E	40km	M3.2
2	2025年03月09日14時02分 愛知県 震度 1 : 一宮市千秋	愛知県西部	35° 19.1' N	136° 57.8' E	8km	M2.6
3	2025年03月26日12時29分 愛知県 震度 1 : 豊田市坂上町*, 豊田市長興寺*	愛知県西部	35° 04.9' N	137° 17.0' E	39km	M2.8
4	2025年04月08日19時26分 愛知県 震度 3 : 豊田市保見町*, 東海市加木屋町*, 大府市中央町*, 知多市緑町* 東郷町春木*, 阿久比町卯坂*, 愛西市石田町*, 愛知みよし市三好町* 震度 2 : 豊橋市向山, 豊川市赤坂町*, 豊川市御津町*, 蒲郡市御幸町* 新城市作手清岳, 新城市作手高里松風呂*, 新城市作手高里繩手上* 新城市東入船*, 豊根村下黒川*, 田原市福江町, 田原市赤羽根町* 名古屋千種区日和町, 名古屋東区筒井*, 名古屋北区菟野通* 名古屋西区八筋町*, 名古屋中村区大宮町*, 名古屋中区県庁* 名古屋昭和区阿由知通*, 名古屋瑞穂区塩入町*, 名古屋熱田区一番* 名古屋港区金城ふ頭*, 名古屋港区善進本町*, 名古屋守山区下志段味* 名古屋守山区西新*, 名古屋緑区有松町*, 名古屋名東区名東本町* 名古屋天白区島田*, 岡崎市若宮町, 一宮市千秋, 一宮市西五城* 一宮市木曾川町*, 瀬戸市追分町*, 半田市東洋町*, 愛知津島市埋田町* 刈谷市寿町*, 豊田市小坂本町, 豊田市大洞町, 豊田市小坂町* 豊田市藤岡飯野町*, 豊田市大沼町*, 豊田市駒場町*, 豊田市畝部西町* 豊田市長興寺*, 豊田市足助町*, 豊田市小原町*, 豊田市小渡町* 安城市和泉町*, 安城市横山町*, 西尾市一色町, 西尾市西幡豆町* 西尾市吉良町*, 西尾市矢曾根町*, 中部国際空港, 常滑市飛香台 小牧市安田町*, 稲沢市平和町, 稲沢市稲府町*, 稲沢市祖父江町* 知立市弘法*, 尾張旭市東大道町, 岩倉市川井町*, 豊明市沓掛町* 日進市蟹甲町*, 蟹江町蟹江本町*, 飛島村竹之郷*, 東浦町緒川* 南知多町豊浜, 愛知美浜町河和*, 愛西市稲葉町, 愛西市江西町* 愛西市諏訪町*, 清須市春日振形*, 清須市西枇杷島町住吉*, 清須市清洲* 北名古屋市井瀬木*, 弥富市神戸*, 弥富市前ヶ須町*, あま市七宝町* あま市木田*, あま市甚目寺*, 長久手市岩作城の内* 震度 1 : 豊橋市東松山町*, 豊川市小坂井町*, 豊川市一宮町*, 蒲郡市水竹町* 新城市乗本, 新城市大野*, 新城市長篠*, 設楽町津具*, 設楽町田口* 田原市石神町, 田原市古田町*, 名古屋中区市役所*, 名古屋中川区東春田* 名古屋港区春田野*, 春日井市鳥居松町*, 碧南市松本町*, 豊田市稲武町* 犬山市五郎丸*, 愛知江南市赤童子町*, 豊山町豊場*, 大口町下小口* 扶桑町高雄*, 大治町馬島*, 武豊町長尾山*, 幸田町菱池*, 清須市須ヶ口*	愛知県西部	34° 55.9' N	137° 06.2' E	36km	M4.6
5	2025年04月18日20時19分 愛知県 震度 2 : 新城市作手高里松風呂*, 新城市作手高里繩手上*, 豊根村富山* 豊田市小坂町*, 豊田市長興寺* 震度 1 : 豊橋市向山, 豊橋市東松山町*, 豊川市赤坂町*, 豊川市小坂井町* 豊川市一宮町*, 豊川市御津町*, 蒲郡市御幸町*, 蒲郡市水竹町* 新城市作手清岳, 新城市大野*, 新城市東入船*, 設楽町津具*, 設楽町田口* 豊根村下黒川*, 田原市福江町, 田原市田原町*, 田原市赤羽根町* 名古屋千種区日和町, 名古屋東区筒井*, 名古屋北区菟野通* 名古屋西区八筋町*, 名古屋中村区大宮町*, 名古屋中区県庁* 名古屋昭和区阿由知通*, 名古屋瑞穂区塩入町*, 名古屋熱田区一番* 名古屋中川区東春田*, 名古屋港区金城ふ頭*, 名古屋港区春田野* 名古屋港区善進本町*, 名古屋守山区下志段味*, 名古屋守山区西新* 名古屋緑区有松町*, 名古屋名東区名東本町*, 名古屋天白区島田* 岡崎市若宮町, 一宮市千秋, 瀬戸市追分町*, 半田市東洋町* 春日井市鳥居松町*, 碧南市松本町*, 刈谷市寿町*, 豊田市小坂本町 豊田市大洞町, 豊田市藤岡飯野町*, 豊田市大沼町*, 豊田市坂上町* 豊田市足助町*, 豊田市稲武町*, 豊田市小原町*, 豊田市小渡町* 安城市和泉町*, 安城市横山町*, 西尾市一色町, 西尾市西幡豆町*	長野県北部	36° 28.1' N	137° 54.8' E	13km	M5.1

	西尾市吉良町*、西尾市矢曾根町*、常滑市飛香台、小牧市安田町* 稲沢市平和町*、稲沢市稲府町*、東海市加木屋町*、大府市中央町* 知立市弘法*、尾張旭市東大道町*、高浜市稗田町*、岩倉市川井町* 豊明市沓掛町*、日進市蟹甲町*、東郷町春木*、豊山町豊場* 蟹江町蟹江本町*、飛島村竹之郷*、阿久比町卯坂*、東浦町緒川* 武豊町長尾山*、幸田町菱池*、愛西市石田町*、愛西市諏訪町* 清須市春日振形*、清須市西枇杷島町住吉*、清須市清洲* 北名古屋市西之保*、北名古屋市井瀬木*、弥富市神戸*、弥富市前ヶ須町* 愛知みよし市三好町*、あま市七宝町*、あま市木田*、あま市甚目寺* 長久手市岩作城の内*
6	2025年04月18日23時39分 長野県北部 36° 27.7' N 137° 54.5' E 13km M4.5 愛知県 震度 1：新城市作手高里松風呂*
7※	2025年05月29日15時28分 岐阜県飛騨地方 36° 03.8' N 137° 17.0' E 12km M4.5 2025年05月29日15時29分 岐阜県飛騨地方 36° 03.6' N 137° 17.1' E 13km M4.5 愛知県 震度 2：新城市作手高里松風呂*、豊田市小坂町*、豊田市長興寺* 震度 1：豊橋市向山、豊川市一宮町*、蒲郡市御幸町*、蒲郡市水竹町* 新城市作手清岳、新城市作手高里繩手上*、新城市東入船*、設楽町田口* 豊根村下黒川*、豊根村富山*、名古屋千種区日和町、名古屋東区筒井* 名古屋北区萩野通*、名古屋西区八筋町*、名古屋中村区大宮町* 名古屋中区県庁*、名古屋昭和区阿由知通*、名古屋瑞穂区塩入町* 名古屋熱田区一番*、名古屋中川区東春田*、名古屋港区金城ふ頭* 名古屋港区春田野*、名古屋港区善進本町*、名古屋守山区下志段味* 名古屋緑区有松町*、名古屋名東区名東本町*、名古屋天白区島田* 岡崎市若宮町、一宮市千秋、一宮市木曾川町*、一宮市緑*、瀬戸市追分町* 半田市東洋町*、春日井市鳥居松町*、愛知津島市埋田町* 碧南市松本町*、刈谷市寿町*、豊田市小坂本町、豊田市大洞町 豊田市大沼町*、豊田市駒場町*、豊田市保見町*、豊田市足助町* 豊田市小原町*、豊田市小渡町*、安城市和泉町*、安城市横山町* 西尾市一色町、西尾市西幡豆町*、西尾市吉良町*、西尾市矢曾根町* 常滑市飛香台、小牧市安田町*、稲沢市平和町*、稲沢市稲府町* 稲沢市祖父江町*、東海市加木屋町*、大府市中央町*、知立市弘法* 尾張旭市東大道町*、高浜市稗田町*、岩倉市川井町*、豊明市沓掛町* 日進市蟹甲町*、東郷町春木*、豊山町豊場*、蟹江町蟹江本町* 飛島村竹之郷*、阿久比町卯坂*、東浦町緒川*、武豊町長尾山* 幸田町菱池*、愛西市石田町*、愛西市江西町*、愛西市諏訪町* 清須市春日振形*、北名古屋市井瀬木*、弥富市前ヶ須町* 愛知みよし市三好町*、あま市木田*、長久手市岩作城の内*
8	2025年05月29日16時21分 岐阜県飛騨地方 36° 03.6' N 137° 17.2' E 12km M3.7 愛知県 震度 1：豊田市小坂町*
9	2025年06月12日12時49分 三重県南東沖 33° 30.3' N 138° 06.2' E 47km M4.8 愛知県 震度 1：蒲郡市御幸町*、蒲郡市水竹町*、一宮市千秋、一宮市西五城* 瀬戸市追分町*、豊田市長興寺*
10	2025年08月14日23時17分 静岡県中部 35° 00.3' N 138° 28.8' E 23km M3.9 愛知県 震度 1：新城市東入船*、豊根村富山*
11	2025年08月18日08時33分 遠州灘 34° 09.1' N 137° 49.1' E 13km M4.6 愛知県 震度 2：田原市田原町* 震度 1：豊橋市向山、豊橋市東松山町*、豊川市赤坂町*、豊川市小坂井町* 豊川市一宮町*、蒲郡市御幸町*、蒲郡市水竹町*、新城市作手清岳 新城市作手高里松風呂*、新城市作手高里繩手上*、新城市東入船* 田原市福江町、田原市赤羽根町*、瀬戸市追分町*、半田市東洋町* 豊田市小坂本町、豊田市小坂町*、西尾市一色町、西尾市矢曾根町* 高浜市稗田町*、南知多町豊浜、愛知みよし市三好町*
12	2025年08月18日21時57分 愛知県西部 34° 54.4' N 137° 21.7' E 38km M3.7 愛知県 震度 2：豊川市御津町*、田原市赤羽根町*、愛知みよし市三好町* 震度 1：豊橋市向山、豊橋市東松山町*、豊川市赤坂町*、豊川市小坂井町* 豊川市一宮町*、蒲郡市御幸町*、蒲郡市水竹町*、新城市乗本、新城市大野* 新城市東入船*、設楽町津具*、田原市福江町、田原市古田町* 田原市田原町*、名古屋千種区日和町、名古屋北区萩野通* 名古屋西区八筋町*、名古屋中村区大宮町*、名古屋昭和区阿由知通*

		名古屋瑞穂区塩入町*, 名古屋熱田区一番*, 名古屋港区金城ふ頭* 名古屋港区善進本町*, 名古屋守山区下志段味*, 名古屋守山区西新* 名古屋緑区有松町*, 名古屋名東区名東本町*, 岡崎市若宮町 一宮市西五城*, 一宮市木曾川町*, 一宮市緑*, 瀬戸市追分町* 刈谷市寿町*, 豊田市小坂本町, 豊田市大洞町, 豊田市小坂町* 豊田市藤岡飯野町*, 豊田市大沼町*, 豊田市駒場町*, 豊田市保見町* 豊田市長興寺*, 豊田市足助町*, 豊田市小渡町*, 安城市和泉町* 安城市横山町*, 西尾市一色町, 西尾市西幡豆町*, 西尾市吉良町* 西尾市矢曾根町*, 犬山市五郎丸*, 大府市中央町*, 知多市緑町* 知立市弘法*, 高浜市稗田町*, 豊明市沓掛町*, 日進市蟹甲町* 東郷町春木*, 南知多町豊浜, 愛知美浜町河和*, 幸田町菱池* 清須市西枇杷島町住吉*
13	2025年08月18日23時12分 愛知県東部 愛知県 震度 2 : 豊田市大沼町* 震度 1 : 豊橋市向山, 豊川市赤坂町*, 豊川市御津町*, 蒲郡市御幸町* 蒲郡市水竹町*, 新城市乗本, 新城市大野*, 新城市東入船*, 設楽町津具* 東栄町本郷*, 豊根村下黒川*, 豊根村富山*, 田原市福江町 田原市赤羽根町*, 名古屋千種区日和町, 名古屋西区八筋町* 名古屋中村区大宮町*, 名古屋昭和区阿由知通*, 名古屋瑞穂区塩入町* 名古屋熱田区一番*, 名古屋港区金城ふ頭*, 名古屋守山区下志段味* 名古屋守山区西新*, 名古屋緑区有松町*, 名古屋名東区名東本町* 岡崎市若宮町, 一宮市千秋, 一宮市西五城*, 一宮市木曾川町*, 一宮市緑* 瀬戸市追分町*, 刈谷市寿町*, 豊田市小坂本町, 豊田市大洞町 豊田市小坂町*, 豊田市駒場町*, 豊田市畷部西町*, 豊田市長興寺* 豊田市足助町*, 豊田市小渡町*, 安城市和泉町*, 安城市横山町* 西尾市一色町, 西尾市西幡豆町*, 西尾市吉良町*, 西尾市矢曾根町* 犬山市五郎丸*, 東海市加木屋町*, 大府市中央町*, 高浜市稗田町* 豊明市沓掛町*, 日進市蟹甲町*, 東郷町春木*, 愛知美浜町河和* 幸田町菱池*, 愛知みよし市三好町*	34° 53.9' N 137° 21.7' E 38km M3.8
14	2025年08月25日01時44分 福井県嶺北 愛知県 震度 1 : 蒲郡市水竹町*, 一宮市千秋, 一宮市木曾川町*, 小牧市安田町* 稲沢市平和町*, 蟹江町蟹江本町*, 愛西市諏訪町*	35° 45.5' N 136° 18.5' E 10km M4.4
15	2025年08月31日03時49分 長野県南部 愛知県 震度 1 : 新城市作手清岳, 新城市東入船*, 豊根村下黒川*, 豊根村富山*	35° 17.5' N 137° 48.3' E 17km M3.4
16	2025年09月07日10時50分 愛知県西部 愛知県 震度 2 : 豊橋市向山, 新城市作手清岳, 新城市作手高里松風呂*, 新城市大野* 新城市東入船*, 田原市福江町, 名古屋瑞穂区塩入町*, 名古屋緑区有松町* 名古屋名東区名東本町*, 半田市東洋町*, 豊田市大沼町*, 豊田市長興寺* 安城市和泉町*, 西尾市西幡豆町*, 西尾市矢曾根町*, 常滑市飛香台 知多市緑町*, 高浜市稗田町*, 愛知美浜町河和* 震度 1 : 豊橋市東松山町*, 豊川市赤坂町*, 豊川市小坂井町*, 豊川市御津町* 蒲郡市御幸町*, 蒲郡市水竹町*, 新城市乗本, 新城市作手高里繩手上* 新城市長篠*, 田原市古田町*, 田原市田原町*, 田原市赤羽根町* 名古屋千種区日和町, 名古屋北区萩野通*, 名古屋西区八筋町* 名古屋中村区大宮町*, 名古屋中区県庁*, 名古屋昭和区阿由知通* 名古屋熱田区一番*, 名古屋中川区東春田*, 名古屋港区金城ふ頭* 名古屋港区善進本町*, 名古屋守山区下志段味*, 名古屋守山区西新* 名古屋天白区島田*, 岡崎市若宮町, 一宮市千秋, 一宮市西五城* 一宮市木曾川町*, 一宮市緑*, 瀬戸市追分町*, 碧南市松本町* 刈谷市寿町*, 豊田市小坂本町, 豊田市小坂町*, 豊田市駒場町* 豊田市坂上町*, 豊田市足助町*, 豊田市小渡町*, 安城市横山町* 西尾市一色町, 西尾市吉良町*, 犬山市五郎丸*, 中部国際空港 愛知江南市赤童子町*, 小牧市安田町*, 稲沢市平和町*, 稲沢市稲府町* 稲沢市祖父江町*, 東海市加木屋町*, 大府市中央町*, 知立市弘法* 尾張旭市東大道町*, 岩倉市川井町*, 豊明市沓掛町*, 日進市蟹甲町* 東郷町春木*, 蟹江町蟹江本町*, 飛島村竹之郷*, 阿久比町卯坂* 東浦町緒川*, 南知多町豊浜, 武豊町長尾山*, 幸田町菱池*, 愛西市稲葉町 愛西市石田町*, 愛西市江西町*, 清須市西枇杷島町住吉*, 清須市清洲* 弥富市神戸*, 愛知みよし市三好町*, あま市七宝町*, あま市木田*	34° 59.5' N 137° 15.4' E 39km M4.1

	あま市甚目寺*, 長久手市岩作城の内*			
17	2025年10月05日19時58分 伊勢湾 愛知県 震度 2 : 中部国際空港, 常滑市飛香台 震度 1 : 半田市東洋町*, 東海市加木屋町*, 大府市中央町*, 知多市緑町*, 高浜市稗田町*, 阿久比町卯坂*, 東浦町緒川*	34° 53.1' N 136° 47.8' E	8km	M3.3
18	2025年10月09日06時51分 伊勢湾 愛知県 震度 2 : 知多市緑町* 震度 1 : 半田市東洋町*, 中部国際空港, 常滑市飛香台, 東海市加木屋町*, 大府市中央町*, 阿久比町卯坂*	34° 53.0' N 136° 47.8' E	8km	M3.4
19	2025年10月11日10時14分 愛知県西部 愛知県 震度 1 : 新城市大野*	34° 54.8' N 137° 22.5' E	37km	M2.8
20	2025年10月23日21時32分 静岡県西部 愛知県 震度 1 : 新城市乗本, 新城市大野*	34° 53.5' N 137° 47.0' E	21km	M3.3
21	2025年10月28日17時11分 静岡県西部 愛知県 震度 1 : 新城市乗本, 新城市大野*	34° 53.5' N 137° 47.0' E	20km	M2.8
22	2025年11月06日23時05分 静岡県西部 愛知県 震度 1 : 新城市乗本, 新城市作手清岳, 新城市作手高里松風呂*, 新城市大野*	34° 52.7' N 137° 48.5' E	22km	M3.2
23	2025年11月07日12時07分 愛知県西部 愛知県 震度 1 : 岡崎市若宮町, 豊田市長興寺*, 安城市横山町*, 西尾市矢曾根町*, 高浜市稗田町*, 幸田町菱池*, 愛知みよし市三好町*	34° 52.7' N 137° 06.8' E	11km	M2.9
24	2025年11月07日21時41分 愛知県西部 愛知県 震度 1 : 一宮市千秋	35° 16.4' N 137° 03.1' E	42km	M3.1
25	2025年11月12日15時50分 愛知県西部 愛知県 震度 1 : 名古屋北区萩野通*, 名古屋西区八筋町*, 名古屋守山区下志段味*, 名古屋守山区西新*, 一宮市千秋, 一宮市木曾川町*, 一宮市緑*, 瀬戸市追分町*, 春日井市鳥居松町*, 豊田市小坂町*, 豊田市藤岡飯野町*, 豊田市保見町*, 豊田市足助町*, 豊田市小原町*, 西尾市矢曾根町*, 犬山市五郎丸*, 常滑市飛香台, 小牧市安田町*, 稲沢市平和町*, 知多市緑町*, 尾張旭市東大道町*, 日進市蟹甲町*, 大口町下小口*, 扶桑町高雄*, 蟹江町蟹江本町*, あま市甚目寺*, 長久手市岩作城の内*	35° 13.8' N 137° 09.2' E	45km	M3.4
26	2025年11月30日23時55分 愛知県西部 愛知県 震度 2 : 新城市作手高里松風呂*, 名古屋守山区西新* 震度 1 : 豊橋市向山, 新城市乗本, 新城市作手清岳, 新城市大野*, 新城市作手高里繩手上*, 新城市長篠*, 新城市東入船*, 設楽町田口*, 東栄町本郷*, 豊根村下黒川*, 豊根村富山*, 田原市福江町, 田原市赤羽根町*, 名古屋千種区日和町, 名古屋東区筒井*, 名古屋北区萩野通*, 名古屋西区八筋町*, 名古屋中村区大宮町*, 名古屋中区県庁*, 名古屋昭和区阿由知通*, 名古屋瑞穂区塩入町*, 名古屋港区金城ふ頭*, 名古屋港区善進本町*, 名古屋守山区下志段味*, 名古屋緑区有松町*, 名古屋名東区名東本町*, 一宮市千秋, 一宮市木曾川町*, 一宮市緑*, 瀬戸市追分町*, 春日井市鳥居松町*, 刈谷市寿町*, 豊田市小坂本町, 豊田市大洞町, 豊田市小坂町*, 豊田市藤岡飯野町*, 豊田市大沼町*, 豊田市駒場町*, 豊田市坂上町*, 豊田市保見町*, 豊田市長興寺*, 豊田市稲武町*, 豊田市小原町*, 豊田市小渡町*, 安城市和泉町*, 西尾市西幡豆町*, 西尾市吉良町*, 西尾市矢曾根町*, 犬山市五郎丸*, 常滑市飛香台, 大府市中央町*, 知立市弘法*, 尾張旭市東大道町*, 高浜市稗田町*, 岩倉市川井町*, 日進市蟹甲町*, 東郷町春木*, 豊山町豊場*, 清須市西枇杷島町住吉*, 清須市清洲*, 愛知みよし市三好町*, あま市甚目寺*, 長久手市岩作城の内*	34° 59.8' N 137° 18.5' E	39km	M3.8
27	2025年12月08日23時15分 青森県東方沖 愛知県 震度 1 : 名古屋千種区日和町, 名古屋北区萩野通*, 名古屋昭和区阿由知通*, 名古屋瑞穂区塩入町*, 名古屋熱田区一番*, 名古屋港区春田野*, 名古屋港区善進本町*, 名古屋守山区西新*, 知立市弘法*, 東郷町春木*, 蟹江町蟹江本町*, 飛島村竹之郷*, 東浦町緒川*, 愛西市稲葉町, 愛西市石田町*, 愛西市江西町*, 弥富市神戸*, 愛知みよし市三好町*	40° 58.0' N 142° 17.2' E	54km	M7.5

<注意事項>

※地点名称に\*印があるのは、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。  
※7の地震は、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度が分離できなかったことを示しています。

※地震の震源やマグニチュード（地震の規模）を決定するためには、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度観測点名称は、令和7年12月における観測点名称で記してあります。

※震源やマグニチュードの値は、地震発生直後の地震情報等の速報値から、精査により見直されたものとなっています。

令和7年(2025年)最大震度別の観測点別地震回数表

2025年1月1日～2025年12月31日

愛知県 No 1

観測点	震度							合計			
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱		6強	7	
豊橋市向山	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8
豊橋市東松山町*	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
豊川市諏訪*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊川市一宮町*	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
豊川市赤坂町*	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
豊川市御津町*	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5
豊川市小坂井町*	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
蒲郡市御幸町*	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
蒲郡市水竹町*	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
新城市栗本	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
新城市作手清岳	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8
新城市作手高里松風呂*	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	8
新城市長篠*	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
新城市東入船*	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10
新城市作手高里繩手上*	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6
設楽町津具*	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
設楽町田口*	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
東栄町本郷*	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
豊根村下黒川*	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
豊根村富山*	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
田原市石神町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
田原市福江町	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
田原市古田町*	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
田原市田原町*	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
田原市赤羽根町*	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
名古屋千種区日和町	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
名古屋東区筒井*	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
名古屋北区萩野通*	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
名古屋西区八筋町*	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
名古屋中村区大宮町*	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
名古屋中区市役所*	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
観測点	震度							合計			
名古屋中区県庁*	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
名古屋昭和区阿由知通*	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
名古屋瑞穂区塩入町*	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8
名古屋熱田区一番*	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
名古屋中区東春田*	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
名古屋港区金城心頭*	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
名古屋港区春田野*	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
名古屋港区善進本町*	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
名古屋南区鳴尾*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
名古屋守山区下志段味*	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
名古屋守山区西新*	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8
名古屋緑区有松町*	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
名古屋名東区名東本町*	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
名古屋天白区島田*	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
岡崎市若宮町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
岡崎市榎山町*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一宮市千秋	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12
一宮市西五城*	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
一宮市木曾川町*	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
一宮市緑*	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
瀬戸市追分町*	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10
半田市東洋町*	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
春日井市鳥居松町*	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
愛知津島市埋田町*	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
碧南市松本町*	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
刈谷市寿町*	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
豊田市小坂本町	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
豊田市大洞町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
豊田市小坂町*	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	10
豊田市藤岡飯野町*	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
豊田市長興寺*	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	10

愛知県 No 2

観測点	震度										合計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
豊田市足助町*	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
豊田市稲武町*	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
豊田市小原町*	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
豊田市大沼町*	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7
豊田市小渡町*	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
豊田市駒場町*	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
豊田市坂上町*	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
豊田市歌節西町*	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
豊田市百々町*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊田市保見町*	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
安城市和泉町*	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
安城市横山町*	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
西尾市一色町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
西尾市矢曾根町*	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10
西尾市西幡豆町*	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
西尾市吉良町*	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
犬山市五郎丸*	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
常滑市飛香台	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8
中部国際空港	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
愛知江南市赤童子町*	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
小牧市安田町*	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
稲沢市稲府町*	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
稲沢市祖父江町*	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
稲沢市平和町*	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
東海市加木屋町*	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7
大府市中央町*	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9
知多市緑町*	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	7
知立市弘法*	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
尾張旭市東大道町*	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
高浜市禰田町*	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9
岩倉市川井町*	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
豊明市沓掛町*	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
日進市蟹甲町*	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
観測点	震度										合計
東郷町春木*	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8
豊山町豊場*	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
大口町下小口*	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
扶桑町高雄*	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
大治町馬島*	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
蟹江町蟹江本町*	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
飛島村竹之郷*	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
阿久比町卯坂*	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
東浦町緒川*	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
南知多町豊浜	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
愛知美浜町河和*	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
武豊町長尾山*	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
幸田町菱池*	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
愛西市稲葉町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
愛西市石田町*	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
愛西市江西町*	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
愛西市諏訪町*	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
清須市西枇杷島町住吉*	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
清須市須ヶ口*	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
清須市清洲*	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
清須市春日振形*	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
北名古屋市西之保*	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
北名古屋市井瀬木*	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
弥富市神戸*	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
弥富市前ヶ須町*	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
愛知みよし市三好町*	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	10
あま市七宝町*	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
あま市木田*	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
あま市甚目寺*	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
長久手市岩作城の内*	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6

注)\*は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点

### (3) 愛知県の各地で観測した有感地震の推移

愛知県の全市町村にある震度観測点で観測した有感地震数（震度1以上を観測した地震数）の推移をまとめました。1995年の兵庫県南部地震以降、気象庁は震度観測の機器計測化を進めました。愛知県にも気象庁を始め防災科学技術研究所や各自治体が地震計を設置していて、気象庁にデータが集められて、迅速に震度を発表しています。ここでは、現在稼働している気象庁の震度データベースに掲載されている愛知県内の全市町村にある震度観測点における有感地震数と震度について1997年以降の推移をまとめます。図がたくさんありますので、見つけやすさを優先して市町村名の五十音順（名古屋市の区は建制順）に並べてあります。図の縦軸は有感地震数です。縦軸の目盛りが震度観測点によって異なっていることに注意して下さい。有感地震数の違いには震源からの距離だけでなく地盤の揺れやすさも反映されています。そのため、有感地震数は震度観測点によって大きく異なっています。

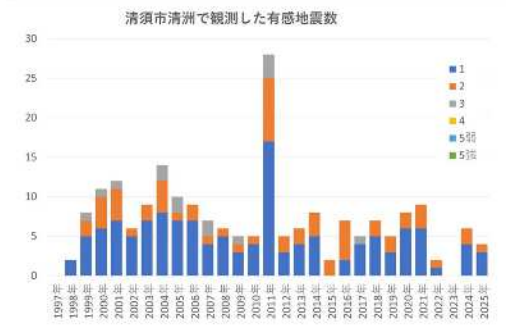
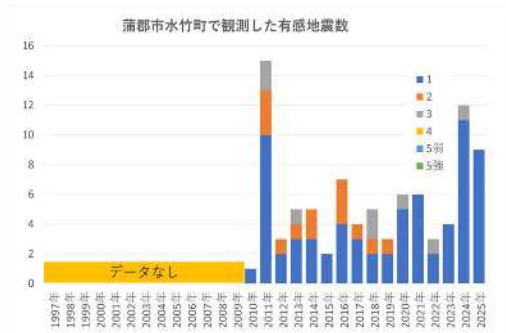
各震度観測点に共通しているのは、東北地方太平洋沖地震が発生した2011年の有感地震数が際立って多いことです。2012年以降は一転して有感地震数は少なくなっています。また、知多半島付近などで2004年の地震数が多いことに気づくかもしれません。これは2004年に三重県南東沖で発生した地震（M7.4, M7.1）によるものです。2024年は能登半島地震（M7.6）とその余震が多く発生したため、愛知県内での有感地震はやや多かった傾向にあります。2025年は例年程度と言えるでしょう。







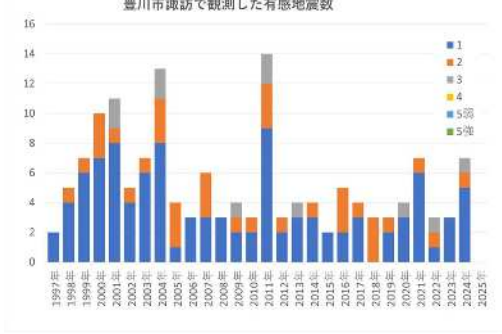
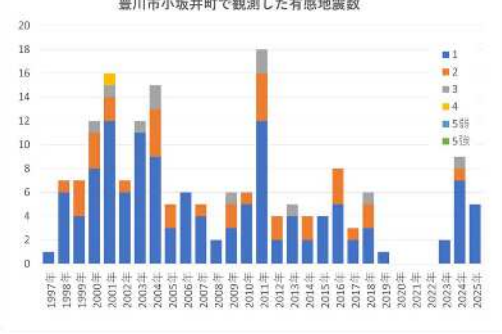
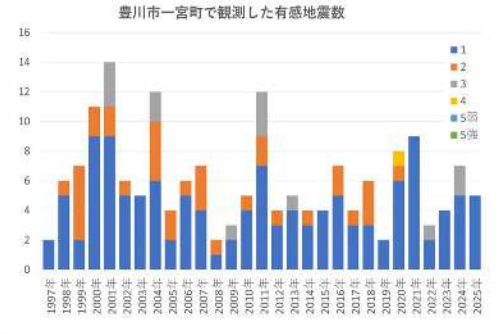
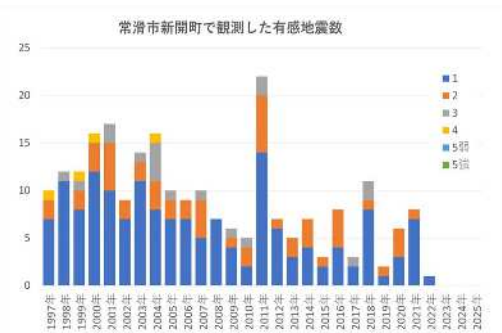


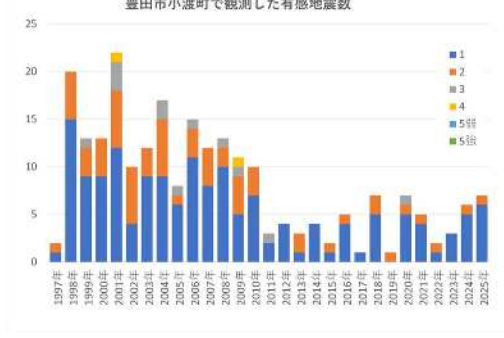
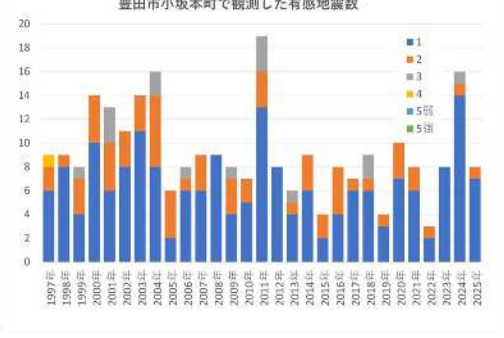
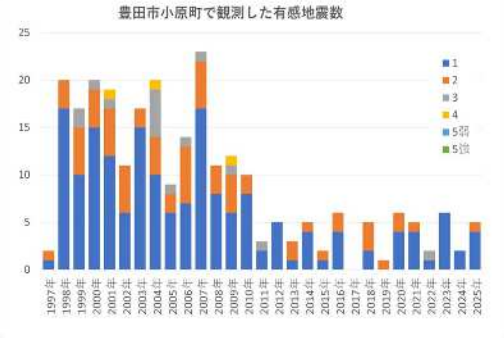
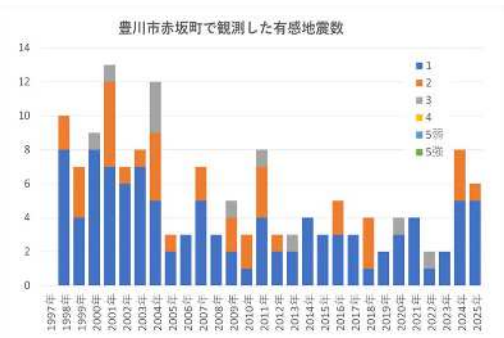


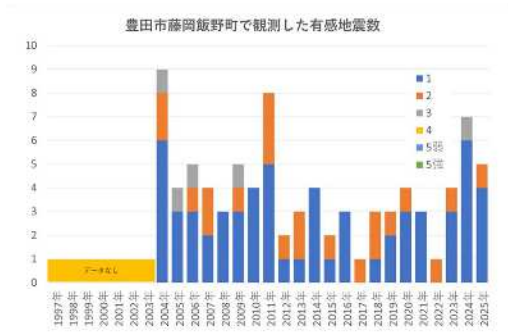
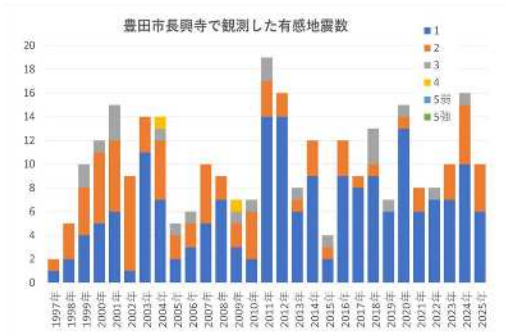
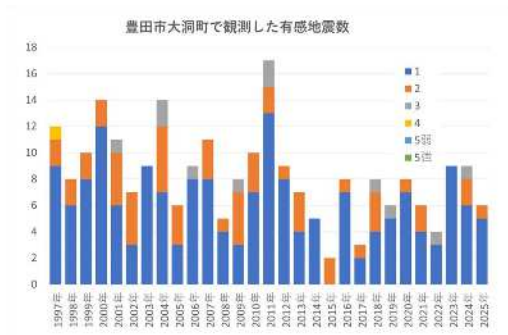
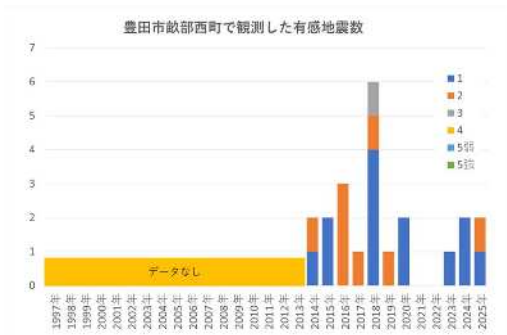


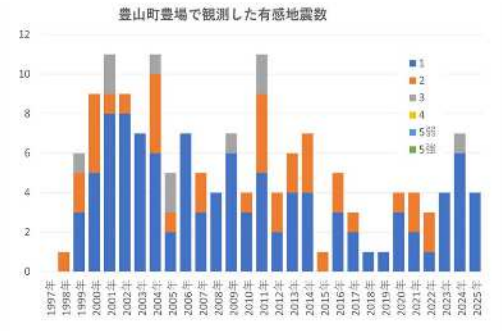
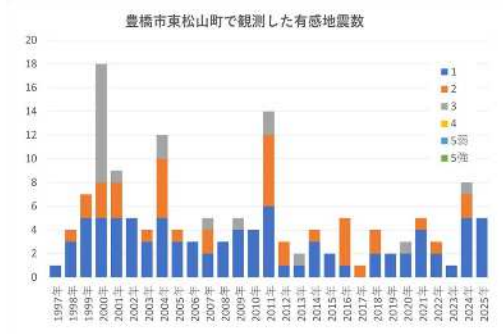












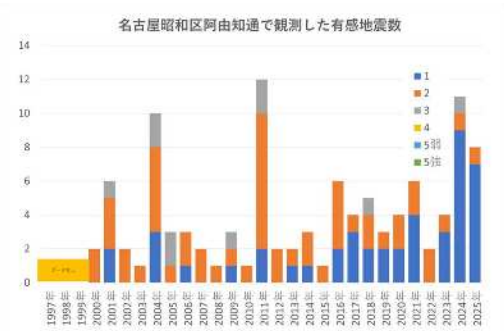
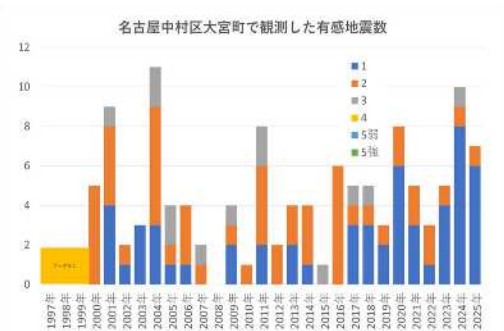
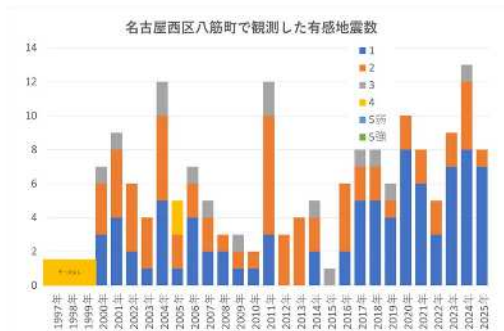








図4 愛知県内の全市町村の震度観測点で観測した1997年以降の有感地震数の推移

### 3 国内の主要な地震

国内で 2025 年に発生した地震を過去と比較するために、震度 5 と 6 が強弱に分けられて日本の震度階が 10 階級になった 1997 年以降の気象庁統計を調べました。図 5 は、震度 5 弱以上の揺れが全国のいずれかの観測点で観測された地震の数を表したものです。過去 29 年のうち、震度 6 弱以上の揺れを観測した地震があった年は 21 回、そのうち震度 6 強以上を観測した年は 14 回、震度 7 を観測した地震があった年は 5 回あります。2025 年に最大の震度を記録した地震は 12 月 8 日に発生した青森県東方沖の地震 (M7.5) です。八戸市で震度 6 強、北海道から岩手県にかけて震度 5 強以上を記録し、長周期地震動階級 3 を観測しました。また、この地震を受けて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されました。

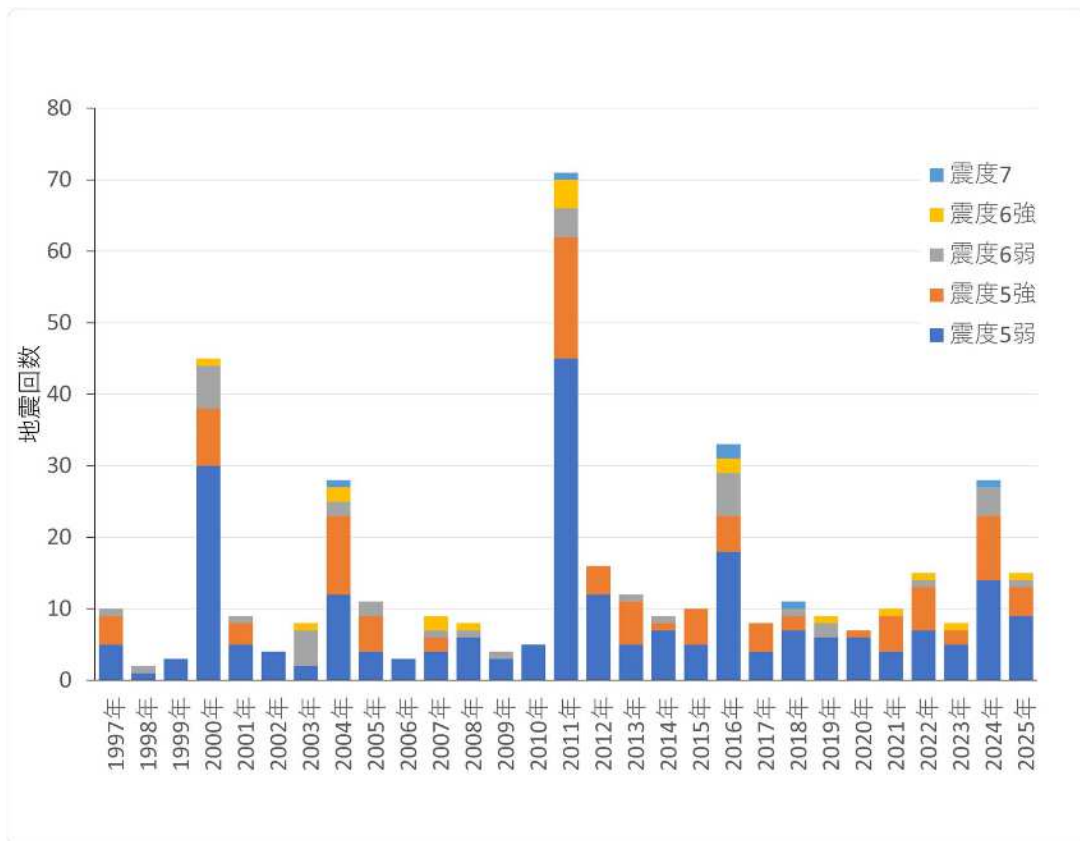
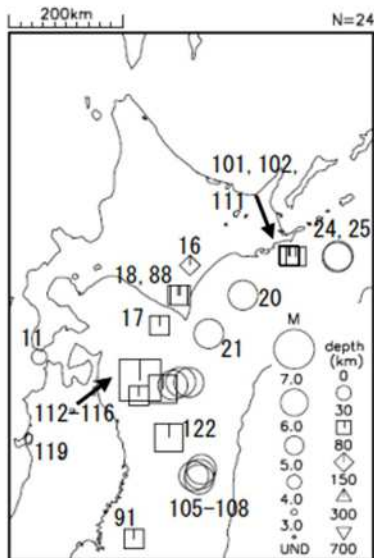
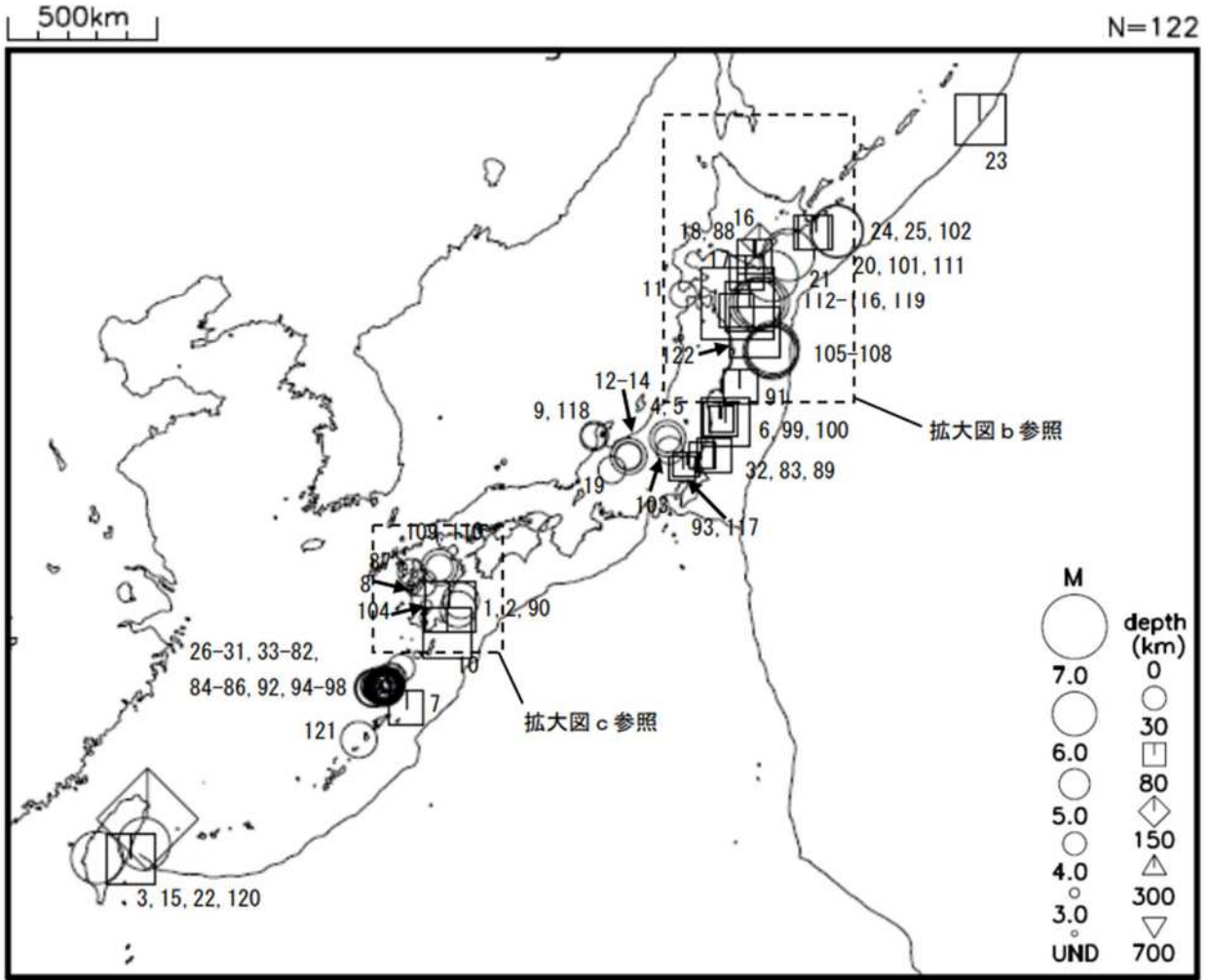


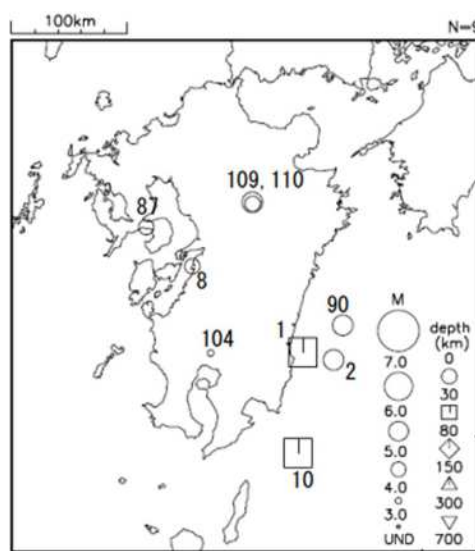
図 5 : 全国のいずれかの震度観測点で震度 5 弱以上を観測した地震数の推移

令和 7 年 (2025 年) における国内および周辺地域に発生した主要な地震について、震央位置と地震一覧をそれぞれ図 6 および表 1 に示します。これらの地震のうち被害を伴った地震は 6 回でした。

# 令和7年（2025年）の日本及びその周辺で発生した主な地震



拡大図 b



拡大図 c

掲載基準

- ・マグニチュード 6.0 以上
- ・被害を伴った
- ・震度 4 以上を観測した
- ・津波を観測した

図 6 : 令和 7 年（2025 年）の日本及びその周辺で発生した主な地震の震央分布図

表1：図6中の「マグニチュード6.0以上」、「被害を伴った」、「震度4以上を観測した」、「津波を観測した」のいずれかに該当する地震の表

No.	震源時				震央地名	震源要素 (注1) (注2)						M	H	S	T	最大震度・被害状況など (注4)					
	月	日	時	分		緯度		経度		深さ (km)	M						Mw	(注3)			
						度	分	度	分												
1	1	13	21	19	日向灘	31°	49.7'	131°	34.2'	36	6.6	6.7	M	H	S	T	5弱：宮崎県 宮崎市霧島 宮崎市松橋* 高鍋町上江* など1県4地点 津波注意報を高知県及び宮崎県に発表 津波観測：宮崎港 (注7) で23cm (注8) など、高知県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で津波を観測 緊急地震速報 (警報) を発表 長周期地震動階級2を観測 南海トラフ地震臨時情報 (調査中) を発表 南海トラフ地震臨時情報 (調査終了) を発表 被害：負傷者4人、住家一部破損2棟 (2025年11月14日17時現在、総務省消防庁による)				
2	1	15	2	12	日向灘	31°	46.1'	131°	51.0'	29	5.4	5.4			S		4：宮崎県 宮崎市松橋*				
3	1	21	1	17	台湾付近	23°	16.5'	120°	29.9'	8	6.1	6.1	M								
4	1	23	2	49	福島県会津	36°	58.6'	139°	22.8'	4	5.2	4.8			S		5弱：福島県 楡枝岐村上河原*				
5	1	23	8	9	福島県会津	36°	58.5'	139°	22.7'	3	4.7	4.5			S		4：福島県 楡枝岐村上河原*				
6	2	21	22	1	福島県沖	37°	30.9'	141°	26.3'	49	4.9	4.8			S		4：福島県 相馬市中村* 新地町谷地小屋*				
7	3	9	3	54	奄美大島北東沖	28°	42.1'	130°	15.1'	62	5.8	5.7			S		4：鹿児島県 奄美市笠利町里* 喜界町滝川 長周期地震動階級1を観測				
8	3	18	5	0	熊本県熊本地方	32°	29.9'	130°	33.4'	10	4.8	-			S		4：熊本県 八代市平山新町 八代市新地町* 上天草市姫戸町* など1県5地点				
9	3	19	13	25	能登半島沖	37°	7.0'	136°	38.5'	6	4.7	4.6			S		4：石川県 志賀町香能*				
10	4	2	23	3	大隅半島東方沖	31°	2.8'	131°	31.4'	36	6.1	6.0	M		S		4：宮崎県 串間市都井* 日南市南郷町南町* 串間市役所* など2県13地点 長周期地震動階級1を観測				
11	4	5	4	15	北海道南西沖	41°	18.3'	140°	9.3'	10	4.1	-			S		4：北海道 福島町福島*				
12	4	18	20	19	長野県北部	36°	28.2'	137°	54.9'	13	5.1	4.9		H	S		5弱：長野県 筑北村西条* 小川村高府* 大町市八坂* など1県4地点 被害：住家一部破損5棟 (2025年11月14日17時現在、総務省消防庁による)				
13	4	18	23	39	長野県北部	36°	27.8'	137°	54.6'	13	4.5	-			S		4：長野県 松川村役場* 小川村高府*				
14	4	19	1	2	長野県北部	36°	28.8'	137°	54.2'	12	4.3	-			S		4：長野県 松川村役場* 大町市役所 小川村高府*				
15	5	5	19	53	台湾付近	23°	52.7'	121°	57.5'	14	6.0	5.7	M								
16	5	15	22	5	十勝地方中部	42°	48.4'	143°	19.2'	95	4.7	4.7			S		4：北海道 浦幌町桜町*				
17	5	23	6	28	浦河沖	41°	51.2'	142°	41.0'	53	5.4	5.5			S		4：北海道 浦河町潮見 浦河町築地* 様似町茶町*				
18	5	26	17	47	十勝地方南部	42°	20.0'	143°	4.2'	50	5.3	5.4			S		4：北海道 浦河町潮見 浦河町築地*				
19	5	29	15	28	岐阜県飛騨地方	36°	3.8'	137°	17.0'	12	4.5	-			S		4：岐阜県 高山市消防署* 高山市朝日町*				
20	5	31	17	37	釧路沖	42°	19.6'	144°	27.1'	20	6.0	6.1	M		S		4：北海道 浦幌町桜町* えりも町目黒* 釧路市黒金町* など1県6地点				
21	6	2	3	51	十勝沖	41°	43.0'	143°	43.1'	27	6.1	5.9	M		S		4：北海道 浦幌町桜町* 十勝大樹町東本通* 長周期地震動階級1を観測				
22	6	11	20	0	台湾付近	23°	22.6'	121°	35.3'	38	6.0	5.9	M								
23	6	14	3	35	千島列島	45°	36.1'	153°	4.6'	ごく浅い	6.2	-	M								
24	6	19	8	8	根室半島南東沖	42°	54.8'	146°	30.7'	25	6.0	5.9	M		S		4：北海道 釧路町別保*				
25	6	22	6	23	根室半島南東沖	42°	53.5'	146°	29.5'	24	6.0	6.0	M								
26	6	22	12	12	トカラ列島近海	29°	19.0'	129°	23.0'	19	4.5	4.8			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
27	6	22	17	15	トカラ列島近海	29°	21.3'	129°	17.0'	24	5.1	5.1			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
28	6	23	0	15	トカラ列島近海	29°	18.3'	129°	26.2'	12	3.6	-			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
29	6	23	23	36	トカラ列島近海	29°	19.5'	129°	24.1'	21	5.0	5.2			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
30	6	24	2	23	トカラ列島近海	29°	17.5'	129°	23.1'	9	4.9	5.0			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
31	6	24	16	4	トカラ列島近海	29°	18.9'	129°	22.7'	18	5.1	5.0			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
32	6	25	13	51	茨城県沖	36°	26.0'	140°	38.7'	54	4.2	-			S		4：茨城県 東海村東海*				
33	6	29	10	15	トカラ列島近海	29°	19.9'	129°	24.2'	20	5.4	5.5			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
34	6	29	16	11	トカラ列島近海	29°	19.1'	129°	28.3'	17	5.3	5.3			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
35	6	29	16	56	トカラ列島近海	29°	19.1'	129°	27.3'	20	4.1	-			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
36	6	30	12	36	トカラ列島近海	29°	21.2'	129°	23.5'	26	4.5	4.8			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
37	6	30	18	33	トカラ列島近海	29°	19.6'	129°	26.4'	22	5.3	5.2			S		5弱：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
38	7	1	6	49	トカラ列島近海	29°	18.7'	129°	26.7'	18	4.3	-			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
39	7	1	17	10	トカラ列島近海	29°	19.4'	129°	25.8'	16	4.9	5.1			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				
40	7	1	20	22	トカラ列島近海	29°	20.4'	129°	26.6'	18	4.4	-			S		4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*				

No.	震源時				震央地名	震源要素 <sup>(注1)</sup> <sup>(注2)</sup>							M	H	S	T	最大震度・被害状況など <sup>(注4)</sup>
						緯度		経度		深さ (km)	M	Mw					
	度	分	度	分		<sup>(注3)</sup>											
41	7	2	4	32	トカラ列島近海	29°	20.2'	129°	29.2'	16	5.1	5.1	・	・	S	・	5弱：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
42	7	2	9	6	トカラ列島近海	29°	17.2'	129°	6.4'	11	4.5	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村小宝島*
43	7	2	9	9	トカラ列島近海	29°	14.5'	129°	4.3'	7	3.7	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村小宝島*
44	7	2	9	14	トカラ列島近海	29°	16.4'	129°	7.5'	13	3.5	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村小宝島*
45	7	2	14	22	トカラ列島近海	29°	15.1'	129°	11.7'	14	4.0	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村小宝島*
46	7	2	14	53	トカラ列島近海	29°	14.3'	129°	4.2'	1	5.3	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村小宝島*
47	7	2	14	54	トカラ列島近海	29°	13.3'	129°	4.9'	1	-	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村小宝島*
48	7	2	15	26	トカラ列島近海	29°	15.4'	129°	3.1'	1	5.6	5.7	・	・	S	・	5弱：鹿児島県 鹿児島十島村小宝島*
49	7	2	16	17	トカラ列島近海	29°	13.8'	129°	6.3'	4	5.0	5.3	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村小宝島*
50	7	3	6	51	トカラ列島近海	29°	20.0'	129°	29.2'	17	4.5	4.6	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
51	7	3	14	31	トカラ列島近海	29°	18.5'	129°	30.7'	19	4.6	4.8	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
52	7	3	15	11	トカラ列島近海	29°	20.6'	129°	25.8'	21	4.8	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
53	7	3	15	18	トカラ列島近海	29°	20.1'	129°	28.4'	ごく浅い	4.6	4.8	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
54	7	3	15	35	トカラ列島近海	29°	21.1'	129°	30.2'	23	3.8	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
55	7	3	16	13	トカラ列島近海	29°	21.5'	129°	31.4'	20	5.5	5.5	・	H	S	・	6弱：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島* 被害 <sup>(注5)</sup> ：住家一部破損1棟(2025年11月14日現在、総務省消防庁による)
56	7	4	9	2	トカラ列島近海	29°	21.1'	129°	29.6'	23	4.3	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
57	7	4	12	20	トカラ列島近海	29°	20.9'	129°	28.8'	22	4.4	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
58	7	4	18	20	トカラ列島近海	29°	20.5'	129°	28.1'	18	4.4	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
59	7	5	2	58	トカラ列島近海	29°	17.9'	129°	25.8'	17	4.6	4.8	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
60	7	5	3	44	トカラ列島近海	29°	21.1'	129°	29.0'	22	4.8	4.9	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
61	7	5	6	29	トカラ列島近海	29°	20.1'	129°	28.3'	19	5.4	5.4	・	・	S	・	5強：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
62	7	5	16	16	トカラ列島近海	29°	19.8'	129°	28.0'	21	4.1	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
63	7	6	12	42	トカラ列島近海	29°	19.2'	129°	31.4'	9	4.5	4.8	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
64	7	6	12	49	トカラ列島近海	29°	21.1'	129°	30.5'	20	3.6	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
65	7	6	13	19	トカラ列島近海	29°	21.6'	129°	29.0'	22	4.4	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
66	7	6	14	1	トカラ列島近海	29°	20.9'	129°	30.4'	21	4.9	-	・	・	S	・	5強：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
67	7	6	14	7	トカラ列島近海	29°	21.9'	129°	30.8'	23	5.5	5.5	・	・	S	・	5強：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
68	7	6	23	44	トカラ列島近海	29°	20.7'	129°	30.6'	17	4.5	4.9	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
69	7	6	23	50	トカラ列島近海	29°	20.8'	129°	30.0'	18	4.5	4.8	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
70	7	7	0	8	トカラ列島近海	29°	20.6'	129°	29.9'	ごく浅い	4.3	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
71	7	7	0	12	トカラ列島近海	29°	21.0'	129°	28.6'	22	5.1	5.2	・	・	S	・	5弱：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
72	7	7	12	2	トカラ列島近海	29°	19.9'	129°	29.4'	15	4.5	4.8	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
73	7	8	11	0	トカラ列島近海	29°	20.9'	129°	25.2'	28	4.6	4.8	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
74	7	11	16	9	トカラ列島近海	29°	16.3'	129°	27.6'	11	5.0	4.9	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
75	7	11	16	30	トカラ列島近海	29°	16.5'	129°	27.2'	13	4.9	4.9	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
76	7	12	11	1	トカラ列島近海	29°	18.9'	129°	30.1'	13	4.9	4.9	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
77	7	13	5	32	トカラ列島近海	29°	18.3'	129°	30.9'	13	4.4	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
78	7	13	5	54	トカラ列島近海	29°	17.4'	129°	32.4'	11	4.4	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
79	7	13	20	19	トカラ列島近海	29°	19.3'	129°	28.2'	9	4.9	5.0	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
80	7	13	20	28	トカラ列島近海	29°	17.6'	129°	30.8'	10	4.7	4.7	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
81	7	14	8	32	トカラ列島近海	29°	18.4'	129°	30.2'	13	4.3	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
82	7	15	13	20	トカラ列島近海	29°	19.3'	129°	28.8'	12	5.4	5.2	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
83	7	15	23	47	茨城県北部	36°	27.6'	140°	36.8'	56	4.9	4.9	・	・	S	・	4：栃木県 市貝町市橋* 茨城県 笠間市石井*
84	7	16	2	15	トカラ列島近海	29°	18.5'	129°	26.6'	12	4.7	4.8	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
85	7	16	15	5	トカラ列島近海	29°	18.4'	129°	31.0'	10	4.4	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
86	7	16	15	14	トカラ列島近海	29°	19.5'	129°	29.8'	12	4.2	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
87	7	25	11	17	長崎県南西部	32°	48.0'	130°	7.7'	9	4.8	-	・	・	S	・	4：長崎県 雲仙市小浜町雲仙 諫早市多良見町* 諫早市森山町* など1県8地点
88	7	28	12	10	十勝地方南部	42°	19.9'	143°	7.5'	51	5.2	5.3	・	・	S	・	4：北海道 浦河町瀬見 浦河町築地* 更別村更別*
89	8	14	4	13	茨城県沖	36°	27.4'	141°	5.1'	47	5.2	5.0	・	・	S	・	4：茨城県 笠間市石井*
90	8	17	6	13	日向灘	32°	2.3'	131°	56.1'	29	5.7	5.6	・	H	S	・	4：宮崎県 宮崎市松橋* 宮崎市霧島串間市役所* など1県6地点 被害：負傷者1人(2025年8月17日現在、宮崎県による)
91	8	30	1	29	宮城県沖	38°	26.6'	142°	12.0'	41	5.8	5.6	・	・	S	・	4：宮城県 大崎市古川旭* 石巻市桃生町* 東松島市矢本* など1県7地点 長周期地震動階級1を観測
92	9	1	15	30	トカラ列島近海	29°	20.4'	129°	30.3'	10	4.0	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島*
93	9	5	21	0	茨城県南部	36°	4.0'	139°	53.8'	46	4.4	-	・	・	S	・	4：栃木県 下野市田中* 下野市笹原*
94	9	13	23	22	トカラ列島近海	29°	55.1'	129°	59.2'	10	4.5	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村中之島徳之尾
95	9	17	21	55	トカラ列島近海	29°	35.1'	129°	43.1'	1	4.7	4.8	・	・	S	・	5弱：鹿児島県 鹿児島十島村諏訪之瀬島*
96	9	17	22	0	トカラ列島近海	29°	38.1'	129°	38.0'	ごく浅い	4.8	4.9	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村諏訪之瀬島*
97	9	19	8	11	トカラ列島近海	29°	38.6'	129°	42.8'	3	3.5	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村諏訪之瀬島*
98	9	19	9	10	トカラ列島近海	29°	37.3'	129°	45.7'	ごく浅い	3.9	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村諏訪之瀬島*

No.	震源時				震央地名	震源要素 <sup>(注1)</sup> (注2)						M	H	S	T	最大震度・被害状況など <sup>(注4)</sup>	
	月	日	時	分		緯度		経度		深さ (km)	M						Mw
						度	分	度	分								
99	10	5	0	21	福島県沖	37°	25.2'	141°	35.1'	45	6.0	6.0				4:福島県 双葉町長塚*	
100	10	7	9	30	福島県沖	37°	31.9'	141°	22.5'	52	5.0	5.2				4:福島県 双葉町長塚* 浪江町幾世橋	
101	10	22	18	17	鉦路沖	42°	55.4'	145°	28.5'	43	5.1	5.0				4:北海道 根室市厚床* 浜中町茶内*	
102	10	25	1	40	根室半島南東沖	42°	56.0'	145°	37.0'	40	5.8	5.8				5弱:北海道 根室市牧の内* 根室市厚床* 長周期地震動階級1を観測	
103	10	26	12	4	栃木県北部	36°	37.5'	139°	27.1'	5	4.7	4.4				4:栃木県 日光市足尾町中才* 日光市足尾町通洞*	
104	11	3	19	18	鹿児島県薩摩地方	31°	49.5'	130°	43.6'	ごく浅い	3.3	-				4:鹿児島県 鹿児島空港	
105	11	9	17	3	三陸沖	39°	24.1'	143°	30.4'	16	6.9	6.7	M		S	T	4:岩手県 盛岡市蔵川* 矢巾町南矢幅* 宮城県 涌谷町新町裏 津波注意報を岩手県に発表発表 津波観測:大船渡で16cm <sup>(注7)</sup> 、宮古で9cm <sup>(注7)</sup> の津波を観測 緊急地震速報(警報)を発表 長周期地震動階級1を観測
106	11	9	17	14	三陸沖	39°	28.9'	143°	31.3'	浅い	6.1	-	M				長周期地震動階級1を観測
107	11	9	17	54	三陸沖	39°	27.1'	143°	24.1'	14	6.6	6.4	M				長周期地震動階級1を観測
108	11	10	16	23	三陸沖	39°	33.5'	143°	33.4'	浅い	6.4	6.1	M				長周期地震動階級1を観測
109	11	25	18	1	熊本県阿蘇地方	32°	59.9'	131°	6.5'	9	5.8	5.4		H	S		5強:熊本県 産山村山鹿* 長周期地震動階級1を観測 被害:負傷者1人(2025年12月3日現在、総務省消防庁による)
110	11	25	21	59	熊本県阿蘇地方	32°	59.1'	131°	6.6'	9	4.3	-			S		4:熊本県 阿蘇市一の宮町* 南阿蘇村中松 阿蘇市波野* など2県4地点
111	12	2	19	3	鉦路沖	42°	56.3'	145°	27.6'	45	5.2	5.0			S		4:北海道 浜中町茶内* 根室市厚床* 鉦路市黒金町* など1県8地点
112	12	8	23	15	青森県東方沖	40°	58.1'	142°	17.3'	54	7.5	7.4	M	H	S	T	6強:青森県 八戸市南郷* 津波警報を北海道、青森県、岩手県の太平洋沿岸に発表 津波観測:岩手県の久慈港で64cm <sup>(注7)</sup> 、北海道の浦河で50cm <sup>(注7)</sup> の津波を観測するなど北海道から東北地方にかけての太平洋沿岸を中心に津波を観測 緊急地震速報(警報)を発表 長周期地震動階級3を観測 北海道・三陸沖後発地震注意情報を発表 被害:負傷者46人、住家全壊1棟など(12月16日15時00分現在、総務省消防庁による)
113	12	9	3	56	青森県東方沖	40°	57.0'	143°	7.7'	19	6.1	6.0	M				
114	12	9	6	52	青森県東方沖	40°	56.6'	143°	18.1'	15	6.6	6.5	M		S		4:青森県 五戸町古館 岩手県 盛岡市蔵川* 平内町小湊 など2県8地点 長周期地震動階級1を観測
115	12	10	23	52	青森県東方沖	40°	50.2'	142°	45.4'	36	6.0	5.8	M		S		4:青森県 五戸町古館
116	12	12	11	44	青森県東方沖	40°	54.0'	142°	57.9'	17	6.9	6.8	M		S	T	4:青森県 東北町上北南* 五戸町古館 野辺地町野辺地* など5県66地点 津波注意報を北海道から宮城県の太平洋沿岸に発表 津波観測:北海道のえりも町原野 <sup>(注8)</sup> で0.2m <sup>(注7)</sup> 、青森県の八戸港で14cm <sup>(注7)</sup> の津波を観測するなど、北海道と青森県の太平洋沿岸で津波を観測 緊急地震速報(警報)を発表 長周期地震動階級2を観測
117	12	12	19	5	茨城県南部	36°	11.6'	140°	3.5'	52	4.9	4.8			S		4:茨城県 筑西市舟生 埼玉県 春日部市船壁* 埼玉県 坂里町石塚* など4県9地点
118	12	14	23	26	石川県西方沖	37°	3.3'	136°	37.5'	8	4.9	4.8			S		4:石川県 志賀町香能*
119	12	21	10	29	青森県東方沖	40°	43.5'	142°	15.2'	51	5.6	5.4			S		4:青森県 階上町道仏* 岩手県 軽米町軽米* 八戸市湊町 など2県7地点
120	12	28	0	5	台湾付近	24°	37.9'	121°	58.2'	86	7.0	6.6	M				
121	12	30	17	12	奄美大島近海	27°	40.4'	128°	42.6'	19	5.7	5.6			S		4:鹿児島県 天城町平土野* 伊仙町伊仙* 徳之島町亀津*
122	12	31	23	26	岩手県沖	40°	4.1'	142°	53.1'	32	6.1	6.0	M		S		4:岩手県 盛岡市蔵川*

(注1) 震源要素は再調査後、修正することがある。

(注2) 深さに\*が付いている地震は、CMT解の深さを用いている。

(注3) MHS Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注4) 最大震度の観測点名にある\*印は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報である。被害の報告は出典の記載がないものは総務省消防庁による。ただし、2024年1月1日以降の「令和6年能登半島地震」の被害については、11月26日22時47分の地震の被害を除き、1月1日16時10分の地震の欄のみ記載した。

(注5) トカラ列島(小島島付近)の地震活動による被害については、7月3日16時13分にトカラ列島近海で発生したM5.5の地震(最大震度6弱)に記載した。

(注6) 国土交通省港湾局の観測施設である。

(注7) 津波の観測値は後日の調査で変更する場合がある。

(注8) 巨大津波観測計による観測のため、観測単位は0.1m。

#### 4 令和7年（2025年）の世界の主な地震

2025年（以下、日本時間を基準とする）に人的被害（注1）を伴った地震は29回（2024年は19回）であり、MjもしくはMw7.0以上の地震は17回（2024年は10回）であった。また、MjもしくはMw8.0以上の地震は1回（2024年はなし）であった（図7及び表2参照）。

2025年に世界で発生した地震のうち、最も規模の大きかった地震は、7月30日のロシア、カムチャツカ半島東方沖の地震（図7中の22）のMw8.8（Mwは気象庁による）であった。

米国地質調査所（USGS）の統計（注2）によると（<https://earthquake.usgs.gov/>）、M8.0以上の地震の年間発生回数の中央値は1回（半数が入る範囲は0回から1回の間）、M7.0～M7.9の地震の年間発生回数の中央値は14回（半数が入る範囲は11回から16回の間）であった。

以下、死者が100人を超える海外の地震について記述する。

1月7日、チベット自治区（中国）の深さ10kmでMw7.1（Mwは気象庁による）の地震（図7中の

2）が発生し、死者134人などの被害が生じた。

3月28日、ミャンマーの深さ10kmでMw7.7（Mwは気象庁による）の地震（図7中の7）が発生し、ミャンマーで死者3,815人、タイで死者44人などの被害が生じた。

9月1日、アフガニスタン南東部の深さ8kmでMw6.0（MwはGlobal CMTによる）の地震（図7中の26）が発生し、少なくとも死者2,150人などの被害が生じた。

（注1）被害状況は、出典のないものは、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）、国内は総務省消防庁による。

（注2）USGSの統計については、USGSのサイト内の以下のページから1990年から2024年までの各年の回数から平均値を算出した。

<https://www.usgs.gov/natural-hazards/earthquake-hazards/lists-maps-and-statistics>

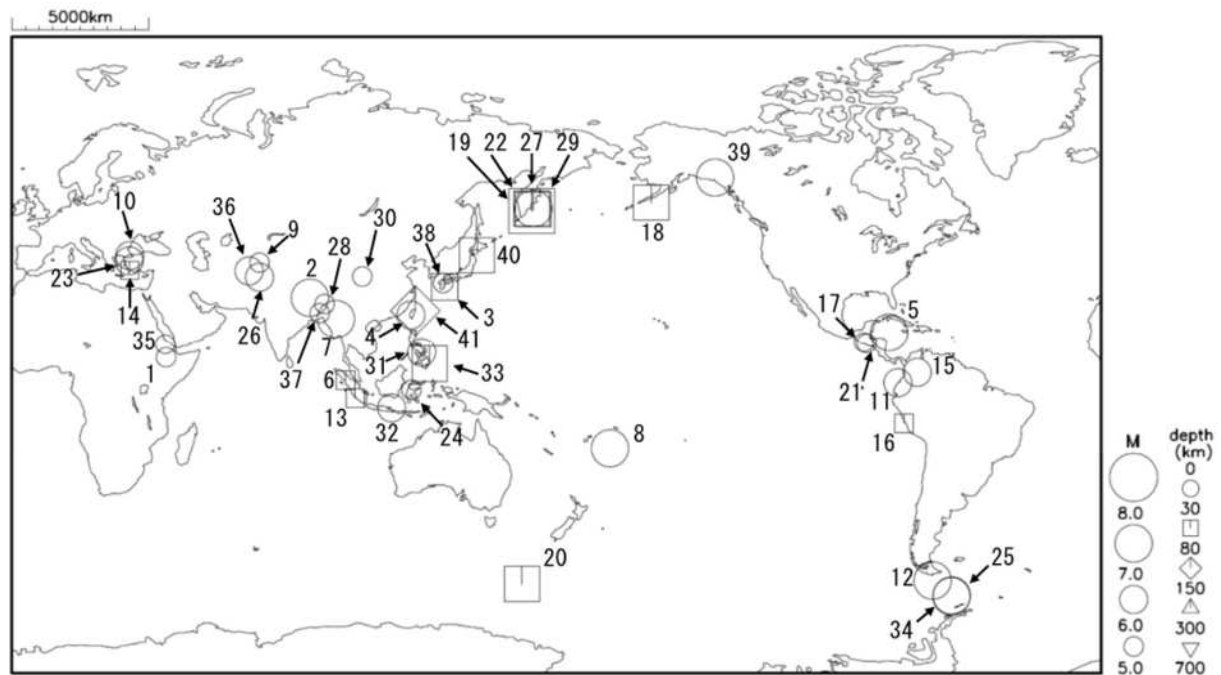


図7：2025年に世界で発生したM7.0以上または人的被害を伴った地震の震央分布

\*：震源要素は、米国地質調査所（USGS）ホームページの” Search Earthquake Catalog”（<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>）による（2026年1月5日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及び一部の規模の大きな地震のMwについては気象庁、その他一部の地震のMwはGlobal CMTによる（表2参照）。  
 \*\*\*\*：数字は、表2の番号に対応する。  
 \*\*\*\*：マグニチュードは表2の値を使用している。海外の地震については、Mw（モーメントマグニチュード）を、Mwが決まっていな場合はMj（気象庁マグニチュード）、またはmb（実体波マグニチュード）の値を表示している。

表2：2025年に世界で発生したマグニチュード7.0以上または人的被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	Mj	Mw	震央地名	備考(被害状況など)	北西	遠地
1	01月04日09時52分	N 9° 27.5'	E 40° 7.3'	8		5.7	エチオピア	負傷者2名など		
2	01月07日10時05分	N28° 36.2'	E 87° 22.6'	10		(7.1)	チベット自治区(中国)	死者134人など		○
3	01月13日21時19分	N31° 49.7'	E131° 34.2'	36	6.6	(6.7)	日向灘	負傷者4人など 津波観測23cm(宮崎港)など		
4	01月21日01時17分	N23° 16.5'	E120° 29.9'		6.1	(6.1)	台湾付近	少なくとも負傷者27人など	○	
5	02月09日08時23分	N17° 39.0'	W 82° 23.7'	14		(7.6)	ホンジュラス北方	津波観測0.04m (イスラ・ムヘース)		○
6	03月18日07時23分	N 1° 52.5'	E 99° 7.9'	47		5.4	インドネシア、スマトラ北部	死者1人など		
7	03月28日15時20分	N22° 0.6'	E 95° 56.1'	10		(7.7)	ミャンマー	ミャンマーで死者3,815人、 タイで死者44人など		○
8	03月30日21時18分	S20° 18.2'	W174° 4.3'	29		7.0	トンガ諸島	津波観測0.05m(ニウエ)など		○
9	04月13日13時24分	N38° 53.9'	E 70° 49.9'	8		5.8	アフガニスタン-タジキスタン 国境	死者1人など		
10	04月23日18時49分	N40° 50.0'	E 28° 11.3'	13		6.2G	トルコ	津波観測0.06m(エルデク)など 負傷者236人など		
11	04月25日20時44分	N 1° 5.0'	W 79° 31.9'	18		6.3G	エクアドル沿岸	津波観測0.42m(エスメラルダス) 負傷者49人など		
12	05月02日21時58分	S56° 48.5'	W 68° 6.1'	10		(7.5)	ドレーク海峡	津波観測0.14m (ベルナツキー研究基地)など		○
13	05月23日04時52分	S 3° 59.4'	E102° 15.2'	47		5.7	インドネシア、スマトラ南部	負傷者7人など		
14	06月03日08時17分	N36° 43.5'	E 28° 11.3'	72		5.8	ギリシア、ドデカネス諸島	死者1人など		
15	06月08日22時08分	N 4° 29.1'	W 73° 7.4'	9		6.3	コロンビア	負傷者6人など		
16	06月16日02時35分	S12° 10.5'	W 77° 26.6'	40		5.6	ペルー沿岸	死者1人など		
17	07月09日06時41分	N14° 27.0'	W 90° 38.8'	10		5.7	グアテマラ	死者5人など		
18	07月17日05時37分	N54° 33.9'	W160° 28.1'	38		7.3	米国、アラスカ半島	津波観測0.1m (サンドポイント)など		○
19	07月20日15時49分	N52° 49.8'	E160° 40.8'	34		7.5G	ロシア、カムチャツカ半島東方	津波観測0.1m(セミヤチク)など	○	○
20	07月29日07時10分	S57° 36.3'	E157° 2.3'	31		7.0	マクオリー島			
21	07月30日06時21分	N14° 5.9'	W 89° 47.4'	12		5.6	グアテマラ	死者1人など		
22	07月30日08時24分	N52° 29.6'	E160° 14.3'	35		(8.8)	ロシア、カムチャツカ半島東方	死者1人など津波観測141cm(久慈 港)		○
23	08月11日01時53分	N39° 22.2'	E 28° 1.0'	10		6.1	トルコ	死者1人など 5m(ヴオドバドナヤ)など		
24	08月17日07時38分	S 1° 16.4'	E120° 43.2'	8		5.8	インドネシア、スラウェシ	死者2人など 津波観測0.02m(アンバナ)		
25	08月22日11時16分	S60° 19.1'	W 61° 55.3'	10		(7.5)	ドレーク海峡	津波観測0.17m (ポート・スタンリー)など		○
26	09月01日04時17分	N34° 42.6'	E 70° 48.5'	8		6.0G	アフガニスタン南東部	少なくとも死者2,150人など		
27	09月13日11時37分	N53° 11.8'	E160° 11.4'	58		7.4G	ロシア、カムチャツカ半島東岸	津波観測0.1m(セミヤチク)など	○	○
28	09月14日20時11分	N26° 42.5'	E 92° 12.6'	29		5.5	インド北東部	負傷者2人など		
29	09月19日03時58分	N53° 8.5'	E160° 43.2'	27		(7.8)	ロシア、カムチャツカ半島東岸	津波観測0.31m(セミヤチク)など	○	○
30	09月27日06時49分	N34° 55.1'	E104° 35.3'	10		5.2	中国、カンスー省	負傷者11人など		
31	09月30日22時59分	N11° 9.3'	E124° 6.6'	10		(6.9)	フィリピン諸島、レイテ	死者79人など	○	○
32	10月01日01時49分	S 7° 12.1'	E114° 11.0'	19		6.0	バリ海	負傷者3人など		
33	10月10日10時43分	N 7° 17.1'	E126° 41.4'	59		(7.4)	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者10人など 津波観測0.19m(ベオ)など		○
34	10月11日05時29分	S60° 11.2'	W 61° 48.9'	6		(7.6)	ドレーク海峡			○
35	10月12日01時18分	N13° 48.3'	E 39° 52.9'	10		5.6	エチオピア	死者1人など		
36	11月03日05時29分	N36° 32.9'	E 67° 22.4'	28		6.3G	アフガニスタン、ヒンドウーク	死者26人など		
37	11月21日13時38分	N23° 51.3'	E 90° 34.3'	27		5.4G	バングラデシュ	死者10人など		
38	11月25日18時01分	N32° 59.9'	E131° 6.5'	9	5.8	(5.4)	熊本県阿蘇地方	負傷者1人		
39	12月07日05時41分	N60° 18.4'	W139° 32.9'	5		7.0	米国、アラスカ州南東部			○
40	12月08日23時15分	N40° 58.1'	E142° 17.3'	54	7.5	(7.4)	青森県東方沖	負傷者46人など 津波観測64cm(久慈港)など		○
41	12月28日00時05分	N24° 37.9'	E121° 58.2'	86	7.0	(6.6)	台湾付近			○

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの”Search Earthquake Catalog”(<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>)による(2026年1月5日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mwの欄に括弧を付して記載したMwは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したMwはGlobal CMTによる。mbはUSGSによる。
- ・地震発生時刻は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所)、国内は総務省消防庁による(2026年1月5日現在)。また、被害状況は、既刊の地震・火山月報(防災編)のデータから更新しているものもある。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(※)を発表したことを表す。  
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>)参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「\*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。
- ・海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による。